

添付資料 9

エルサルバドル国内会議議事録

目 次

第1年次.....	1
第2年次.....	27
第3年次.....	109
第4年次.....	136

第1年次

Record of Meeting/Discussion

Date:	12 February 2009	Time:	from 16:00	to 17:00
Venue:	ANDA 総裁執務施設会議室			
Meeting/Discussion among				
<input type="checkbox"/>	NRW Reduction Management Team	<input type="checkbox"/>	NRW Reduction Action Team (Metropolitan)	
<input type="checkbox"/>	NRW Reduction Action Team (Central)	<input type="checkbox"/>	NRW Reduction Action Plan (Western)	
<input type="checkbox"/>	Power-Saving Management Team	<input type="checkbox"/>	Sewerage Planning Team	
<input checked="" type="checkbox"/>	Others			
Attendants El Salvador side				
	Name	Position	Department/Organization	
1	Ing. Sigifredo Ochoa Gómez	Presidente	ANDA	
2	Ing. Jorge Antonio Rivas Mata	Director Técnico	ANDA	
3	Ing. Antonio Rafael Méndez Arce	Director de Planificación y Desarrollo	ANDA	
4	Ing. Jose Israel Flores	Gerente Regional Zona Metropolitan	ANDA	
5	Ing. Luis Enrique EscobarCruz	Gerente Regional Zona Oriental	ANDA	
6	Ing. Jorge Antonio Rivas	Gerente Regional Zona Central	ANDA	
7	Ing. Jaime Salvador del valle Guerra	Gerente Regional Zona Occidental	ANDA	
8	Ing. Juan Alfrado Ceavega	Jafa de Unidad de Eficiencia Energetica	ANDA	
9	Inga. Karla María Ciudad Real	Jafa de Unidad de Cooperación	ANDA	
Attendants JICA El Salvador Office				
	Name	Position	Department/Organization	
1	那須 隆一	所長	JICA エルサルバドル事務所	
2	小林 実	所員	JICA エルサルバドル事務所	
3	Orlando Hidalgo Buitargo	プログラムオフィサー	JICA エルサルバドル事務所	
Attendants JICA Experts (Name)				
	間宮 健匡 (ファクトファイター)	小原 幸三 (水道施設管理)	岡崎 明彦 (漏水削減技術)	
	和田 徹雄 (下水道計画)	山本 朋也 (設備管理)	横川 譲治 (通訳)	
Main Subject:				
・ ANDA 総裁表敬訪問				
Topic	Contents of Discussion			
	1. ANDA 側出席者、専門家双方で自己紹介を実施 2. 専門家よりプロジェクトの実施方針を説明 3. ANDA/JICA/専門家の合意事項 ・ ANDA/JICA/専門家は、プロジェクト実施に際し相互の協力を再確認した。 ・ プロジェクトの主体は ANDA であり、専門家はその協力者である、との認識を確認した。 ・ 専門家の活動について、ANDA 関係部局はでき得る限りの協力を行う。 ・ プロジェクト期間中、専門家は常駐ではない。専門家滞在期間中に効率よく活動が実施できるよう、ANDA は専門家の都合を勘案した活動計画を策定する。 ・ ANDA 側のプロジェクト取りまとめは、開発計画責任者の Méndez 氏と技術責任者の Rivas 氏の両氏が務める。 ・ 専門家執務室 (ANDA 本部) の状況確認を 2 月 13 日 14:00 より実施する。 以上			
	Actions to be taken	by Whom	until When	

Date : 13. February. 2009

by : 山本 朋也, JICA 専門家

Record of Meeting/Discussion

Date:	12 February 2009	Time:	From 10:00 to 12:00
Venue:	JICA El Salvador Office		
Meeting/Discussion among			
<input type="checkbox"/>	NRW Reduction Management Team	<input type="checkbox"/>	NRW Reduction Action Team (Metropolitan)
<input type="checkbox"/>	NRW Reduction Action Team (Central)	<input type="checkbox"/>	NRW Reduction Action Plan (Western)
<input type="checkbox"/>	Power-Saving Management Team	<input type="checkbox"/>	Sewerage Planning Team
<input checked="" type="checkbox"/>	Others		
Attendants			
	Name	Position	Department/Organization
1	那須 隆一	所長	JICA エルサルバドル事務所
2	小林 実	所員	JICA エルサルバドル事務所
3			
4			
Attendants JICA Expats (Name)			
	間宮 健匡 (チーフアドバイザー)	小原 幸三 (水道施設管理)	岡崎 明彦 (漏水削減技術)
	和田 徹雄 (下水道計画)	山本 朋也 (設備管理)	横川 譲治 (通訳)
Main Subject:			
1. プロジェクト実施計画について			
2. JICA エルサルバドル事務所の事業概要について			
Topic	Contents of Discussion		
	<p>1. プロジェクト実施計画について</p> <p>那須所長よりプロジェクト背景について説明</p> <ul style="list-style-type: none"> 本プロジェクトは、エルサルバドル国（「エ」国）協力プログラム「環境・衛生改善」に該当し、当該分野の目玉案件でもある。 「エ」国の電気使用量の10%を占める ANDA の節電と経営改善は、同国の期待も大きい。 活動内容に対しスケジュールがタイトである。JICA 事務所も最大限の支援を行う。 <p>専門家よりプロジェクト実施計画の説明を実施</p> <ul style="list-style-type: none"> インセプションレポート（IC/R）（案）を基に、活動計画について説明。 各専門家より担当業務について説明。 <p>那須所長より</p> <ul style="list-style-type: none"> JICA では「エ」国東部地域を重点地域として複合的な支援活動を展開中である。東部地域は本プロジェクトの対象エリアではないが、プロジェクトにおいて当該地域への技術展開も勧奨すること。また、当該地域でのルクセンブルク国の活動範囲および活動手法との連携も考慮すること。 円借款事業において、La Union 港の整備を実施している。JICA では「エ」国において、環境／廃棄物／下水道などの分野で協力準備調査を進めており、ANDA を有望な支援機関と位置づけている。 本プロジェクトにおいて「下水道整備計画策定能力向上」が予定されているが、既にフランスが下水道整備支援の調査を進めているので、その情報収集も合わせて行うこと。 「エ」国大統領選挙が3月15日に予定されているが、いずれの候補者も投票数の過半数を獲得することが困難と思われることから、4月19日に上位候補者2名による決戦投票が実施されることになると予想される。安全対策の観点から、大統領選挙投票日およびその前後の期間は、JICA 関係者の活動および「エ」国渡航停止措置を予定している。 		

- ・ 大統領選挙の結果次第では、ANDA 上層部の人事異動をも考慮する必要がある。新内閣の発足は6月1日となる。
- ・ 国家予算の 1/3 が米国からの支援である「エ」国であるが、世界的経済危機の影響はゆるやかであると感じている。
- ・ 中米他国と比較すると、「エ」国は技術協力活動の手応えが感じられる印象である。

小林所員より

- ・ 本プロジェクト1年次の活動対象地域は、ANDA 中部支局、西部支局、首都圏支局である。(専門家より、1年次活動にてANDA 東部支局に本プロジェクトの活動チームを設立する必要の有無を確認したことに対して回答)
- ・ 「エ」国は近年、無償供与対象国から卒業するが、環境無償プロジェクトとして「ANDA 送水ポンプ設備改修」案件が候補に挙がっている。採択は未定である。
- ・ ANDA は下水道整備への協力を強く要望しているが、事前調査団はANDA 下水道部門の体制が未熟につき、協力実施は時期尚早との評価であった。
- ・ ANDA より、下水道部門へシニアボランティア (SV) の派遣要請を受けている。今春の募集で、早ければ今秋の派遣となる。本プロジェクトで実施する下水道部門への協力を、当該 SV が引き継ぎ活動することが期待されている。
- ・ 現在、JOCV 5名が「エ」国の環境/防災分野で活動中である。当該 JOCV が保有する広報活動のノウハウは本プロジェクトに有意義であると思われる。2月27日にサンサルバドル市内で安全対策会議を開催予定である。その際に、当該 JOCV との情報交換の機会を設定する準備がある。
- ・ 「地方自治体廃棄物総合管理プロジェクト」を受託実施している八千代エンジニアリング (株) の専門家が2月23日に現地活動を完了する。それまでに、本プロジェクト専門家との情報交換の機会を設定する準備がある。

2. JICA エルサルバドル事務所の事業概要について

- ・ 小林所員より以下の配布資料共に「エ」国での事業概要について説明を受けた。
 - ・ エルサルバドル共和国 JICA 事業概要 (2009年1月1日現在)
 - ・ ESTRUCTURA ORGANIZATIVA ACTUAL DEL ORGANO EJECUTIVO DEL GOBIERNO DE EL SALVADOR
 - ・ 海外安全の手引き (JICA エルサルバドル事務所)
 - ・ 国際協力機構 エルサルバドル事務所 緊急連絡網 (2009年2月1日)
 - ・ JICA エルサルバドル安全対策図
 - ・ サンサルバドル市リスクマップ
 - ・ 2009年リスクカレンダー
 - ・ 短期滞在者用国別最新情報 (2008年11月29日)
 - ・ 安全の手引き (2008年4月) 在エルサルバドル日本国大使館

以上

Actions to be taken	by Whom	until When

Date : 16. February. 2009

by : 山本 朋也, JICA 専門家

Record of Meeting/Discussion

Date:	13 February 2009	Time:	from 14:00 to 16:00
Venue:	ANDA Head Office		
Meeting/Discussion among			
<input type="checkbox"/>	NRW Reduction Management Team	<input type="checkbox"/>	NRW Reduction Action Team (Metropolitan)
<input type="checkbox"/>	NRW Reduction Action Team (Central)	<input type="checkbox"/>	NRW Reduction Action Plan (Western)
<input type="checkbox"/>	Power-Saving Management Team	<input type="checkbox"/>	Sewerage Planning Team
<input checked="" type="checkbox"/>	Others		
Attendants El Salvador side			
	Name	Position	Department/Organization
1	Ing. Juan Alfredo Ceavega	Jafa de Unidad de Eficiencia Energetica	ANDA
2	Inga. Karla María Ciudad Real	Jafa de Unidad de Cooperación	ANDA
3			
Attendants JICA Exparts (Name)			
	Mr. Takemasa MAMIYA	Mr. Kozo OBARA	Mr. Akihiko OKAZAKI
	Mr. Testuo WADA	Mr. Tomonari YAMAMOTO	Mr. Joji YOKOGAWA (Interpreter)
Main Subject:			
1. Confirmation of JICA Experts Office situation			
2. Discussion concerning Inception Report (IC/R) meeting and Project Staff's employment			
Topic	Contents of Discussion		Conclusion
1	<p>Experts were guided to their office, and confirmed actual situation. Mr. Ceavega and Ms. Ciudad explained office set-up schedule.</p> <ul style="list-style-type: none"> - Experts confirmed 4 PCs, 1 copy machine and 1 telephone in the office. - Desks, chairs and furnitures will be delivered on February 16. - Experts will start their activity from next Monday at this office. 		
2	<p>Experts and ANDA staffs discussed and confirmed some points as follows:</p> <ul style="list-style-type: none"> - IC/R meeting will be held in ANDA president's office at 16:00 February 18. - ANDA president and Directors will attend this meeting. - Experts passed ANDA staffs the copy of IC/R and added that the project name of the report is old name. - ANDA arranges the vehicle that the ANDA staff uses though Experts arrange the vehicle that Experts use. - Experts asked ANDA staffs to introduce Project Staff candidates. 		
Actions to be taken		by Whom	until When
- Introduction of Project Staff candidates		- ANDA	- February 16

Date: 13.Feb.2009 by: Mr. YAMAMOTO, JICA Expert

Record of Meeting/Discussion

Date:	13 February 2009	Time:	From 9:00 to 12:00
Venue:	JICA El Salvador Office		
Meeting/Discussion among			
<input type="checkbox"/>	NRW Reduction Management Team	<input type="checkbox"/>	NRW Reduction Action Team (Metropolitan)
<input type="checkbox"/>	NRW Reduction Action Team (Central)	<input type="checkbox"/>	NRW Reduction Action Plan (Western)
<input type="checkbox"/>	Power-Saving Management Team	<input type="checkbox"/>	Sewerage Planning Team
<input checked="" type="checkbox"/>	Others		
Attendants			
	Name	Position	Department/Organization
1	Lic. Salvador Guzman	安全対策クラーク	JICA エルサルバドル事務所
2			
3			
4			
5			
6			
Attendants JICA Experts (Name)			
	間宮 健匡 (チーフアドバイザー)	小原 幸三 (水道施設管理)	岡崎 明彦 (漏水削減技術)
	和田 徹雄 (下水道計画)	山本 朋也 (設備管理)	横川 譲治 (通訳)
Main Subject:			
・安全対策ブリーフィング			
Topic	Contents of Discussion		
	<p>安全対策クラークより、エルサルバドル国（「エ」国）の治安状況／安全対策について説明を受けた。</p> <p>1. 「エ」国の状況について</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 北側・東側をホンジュラス、西側をグアテマラと接し、南側は太平洋に面している。 ・ 沿岸道路とパン・アメリカン道路の2本の幹線道路がある。 ・ 東部4県、中部5県、西部5県の計14の県から構成される。 ・ 内戦が12年間続き、山岳地帯が主な戦場となったが、現在は比較的治安の良いエリアである。 ・ 米国などへの200万人の海外移民からの国内送金が、国民の重要な生活資金となっている。 ・ 14の県にそれぞれ人民警察（PNC）があるが、軍隊も治安維持活動に参加している。 ・ 各県にギャング団がある。サンサルバドル県では、ソヤパango地区、イロパango地区、サンマルコス地区、メヒカノ地区、アユトウクスデベケ地区、デルガド地区、アボバ地区、トナカテベケ地区、サンマルティン地区などは治安が悪く要注意である。 ・ 2009年は選挙が多く行われる年である。 ・ 火山帯（5つの火山）は観光地であるが、治安は不安定であるので注意すること。 ・ 12年間の内戦で75,000人の死者、内戦終結後16年間で55,600人の死者。 ・ サンサルバドル市の犯罪発生件数は、1358件／2008年。 ・ 「エ」国の犯罪発生比率：西部22%、中央8%、首都圏56%、東部14%。 ・ 犯罪被害による死亡者：8人／日・10万人⇒10人／日・10万人に悪化。 ・ ①内戦時に米国へ移民したが、強制帰国させられた人たち、②海外出稼ぎ者が失業によって帰国した人たち、が増加し犯罪増の要因となっていると思われる。 ・ 警察は犯罪者の取り締まりに努めているが、警察の活動以上に犯罪増加のペースが上回っており、犯罪発生抑制につながっていないのが現状である。 <p>2. 「エ」国での活動について</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ ANDAの業務で治安の悪い地域を訪れる際には、ガードマン2名（+運転手1名）を 		

	同行させること。 ・ 業務は日中に限る。早朝の場合、日の出後の活動であれば OK。夜間移動は NG。 地方での業務可能時間帯：8 時～17 時 30 分 都市部での業務可能時間帯：8 時～18 時 サンサルバドル市から 2 時間ほどで地方都市に移動できる。ラ・ウニオンは 3 時間程度。 ・ 都市間移動はキャラバンを組むこと。⇒移動車両 A+移動車両 B+ガードマン車両 ・ 地方へ移動する際には、事前に JICA 事務所に問い合わせるなどの情報収集を行うこと。 ・ 宿泊施設を選定する際には、セキュリティのしっかりした施設を選ぶこと。 ・ ANDA のセキュリティ担当は、カシーロ・エルナンデス氏。 <div style="text-align: right;">以上</div>		
	Actions to be taken	by Whom	until When

Date : 16. February. 2009

by: 山本 朋也, JICA 専門家

Record of Meeting/Discussion

Date:	13 February 2009	Time:	from 16:10 to 16:40
Venue:	在エルサルバドル国日本国大使館		
Meeting/Discussion among			
<input type="checkbox"/>	NRW Reduction Management Team	<input type="checkbox"/>	NRW Reduction Action Team (Metropolitan)
<input type="checkbox"/>	NRW Reduction Action Team (Central)	<input type="checkbox"/>	NRW Reduction Action Plan (Western)
<input type="checkbox"/>	Power-Saving Management Team	<input type="checkbox"/>	Sewerage Planning Team
<input checked="" type="checkbox"/>	Others		
Attendants			
	Name	Position	Department/Organization
1	加来 至誠	特命全権大使	在エルサルバドル大使館
2	塚本 剛志	二等書記官	在エルサルバドル大使館
3	那須 隆一	所長	JICA エルサルバドル事務所
4	小林 実	所員	JICA エルサルバドル事務所
5			
6			
Attendants JICA Experts (Name)			
	間宮 健匡 (チーフアドバイザー)	小原 幸三 (水道施設管理)	岡崎 明彦 (漏水削減技術)
	和田 徹雄 (下水道計画)	山本 朋也 (設備管理)	
Main Subject:			
・ 日本大使館表敬訪問			
Topic	Contents of Discussion		
	<ol style="list-style-type: none"> JICA 那須所長より専門家着任を加来大使に報告 専門家よりプロジェクト概要を加来大使に説明 専門家自己紹介 加来大使より <ul style="list-style-type: none"> エルサルバドル国 (「エ」国) にとって水問題は大変重要であり多くの課題がある。先日、「エ」国環境大臣より下水道施設整備の協力を打診されたばかりである。 プロジェクトの拠点はサンサルバドル市となるのか、また、ラ・ウニオン県の諸問題に関与する可能性があるのか、ご質問。(JICA 小林所員より、本プロジェクトは東部地域 (ラ・ウニオン県) は対象地域外であることをご説明) 「無収水」についてご質問。(専門家より無収水について、その概要を説明) 以前から水道メーターが設置されている富裕層地域では水道メーターの計量誤差が大きく水道料金が少なく徴収されている傾向があるのに対し、貧困層地域では最近、水道メーターが設置され正確に計量され“きっちり”と水道料金が徴収されており、経済的な不公平が発生している、との不満を聞いている。 「草の根無償資金協力」にて、「エ」国の村落地域に簡易水道施設の設置支援を数十件実施している。同施設の引き渡し式への出席のため地方村落地域を訪問するが、そこで厳しい現実と多くの課題を実感している。 ANDA の経営状況に関するマスコミ報道を良く目にする。 ANDA 総裁来訪時に、雨水貯留槽を各家庭に設置し節水効果が実証され、今後、全国で同様な対策を展開したい、との報告を受けている。 「エ」国では、近年、雨期に十分な雨量が得られず社会問題が発生しているが、反面、集中豪雨による災害被害も発生している。2008年7月3日夜半にサンサルバドル市で発生した集中豪雨ではバスが水没し36名が犠牲になっている。 		

	<ul style="list-style-type: none"> ・ 国家予算に占める補助金額が削減されていることで、各省庁および各機関の活動に影響が出ており、国民生活に社会的格差不公平さを生じさせている。 ・ サンサルバドル市北部の人工湖（カスカトラン県スチトト町セロングランデ湖）では、未処理の下水や廃棄物が湖に流入しており汚染が進んでいる実態がある。 ・ 技術協力プロジェクトは「エ」国の国づくりにつながる協力活動である。また、「エ」国は“打てば響く”国民性でもあり、ANDA とのコミュニケーションを図り、是非とも頑張っていたきたい。 <p>塚本書記官より</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 「エ」国の大統領選挙を間近に控えるこの時期にプロジェクトを開始するには、メリットとデメリットの両方がある。極力、デメリットには手を出さず、メリットを活かした活動をお願いしたい。 ・ おそらく、大統領就任を機に ANDA 総裁および局長クラスは、そのほとんどが交代となるであろう。 ・ 気候変動対策に寄与する案件への協力予算を準備しており、ANDA から「送配水ポンプの高効率機種への全交換」の協力要請が寄せられている。近日中に COJUTE PEQUE のポンプ施設の視察を予定している。 ・ 技術協力プロジェクトのメリットは、専門家の長期滞在による指導にある。活動の成果に期待している。 ・ 「エ」国での安全対策は十分に実施されたい。比較的安全とされる ZONA ROSA 地区にあっても外国人が犯罪被害に合ったとの情報もある。注意されたい。 <p>JICA 小林所員より</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ ANDA より、下水道部門ヘシニアボランティア（SV）の派遣要請を受けている。今春の募集で、早ければ今秋の派遣となる。本プロジェクトで実施する下水道部門への協力を、当該 SV が引き継ぎ活動することが期待されている。また、ANDA の下水道施設計画の協力準備調査も進めている。 <p style="text-align: right;">以 上</p>						
	<table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <thead> <tr> <th style="width: 50%; text-align: center;">Actions to be taken</th> <th style="width: 25%; text-align: center;">by Whom</th> <th style="width: 25%; text-align: center;">until When</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td style="height: 40px;"></td> <td></td> <td></td> </tr> </tbody> </table>	Actions to be taken	by Whom	until When			
Actions to be taken	by Whom	until When					
	<table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <tbody> <tr> <td style="height: 40px;"></td> <td></td> <td></td> </tr> </tbody> </table>						

Date : 16. February, 2009

by : 山本 朋也, JICA 専門家

Record of Meeting/Discussion

Date:	18 February 2009	Time:	from 8:10 to 9:00
Venue:	JICA エルサルバドル事務所		
Meeting/Discussion among			
<input type="checkbox"/>	NRW Reduction Management Team	<input type="checkbox"/>	NRW Reduction Action Team (Metropolitan)
<input type="checkbox"/>	NRW Reduction Action Team (Central)	<input type="checkbox"/>	NRW Reduction Action Plan (Western)
<input type="checkbox"/>	Power-Saving Management Team	<input type="checkbox"/>	Sewerage Planning Team
<input checked="" type="checkbox"/>	Others		
Attendants El Salvador side			
	Name	Position	Department/Organization
Attendants JICA El Salvador Office			
	Name	Position	Department/Organization
1	小林 実	所員	JICA エルサルバドル事務所
2	原 尚生	国際事業本部社会開発部副部長兼開発課長	八千代エンジニアリング
3	荒井隆俊	〃 環境計画課主任	八千代エンジニアリング
4	Akira Nakajima	八千代現地調整員	〃
Attendants JICA Expats (Name)			
	間宮 健匡 (チーフアドバイザー)		
	和田 徹雄 (下水道計画)		
Main Subject:			
・ 廃棄物技プロを担当した八千代エンジニアリング (YE) と情報交換			
Topic	Contents of Discussion		
	<p>JICA 小林氏による YE との引き合わせ後、YE と情報交換</p> <p>4. スペイン語の通訳等の現地雇用契約内容 NSC より現地雇用契約の際に、社会保障や保険、税金等現地の労働法令などで規定されている事を盛り込む必要があるように指摘されたことがあるが、YE ではどのように対処しているか質問。YE では健康保険・税金等は、被雇用者側が全てそれらについて責任を持つとする包括契約のような形にしている。</p> <p>5. YE 雇用の通訳 YE の通訳 (女性: マリナ テイラー) を YE のプロジェクト終了後紹介してもらうこととした。2月23日まで YE の契約となっており、24日以降に面会することとする。</p> <p>6. プロジェクト広報について YE の広報活動について質問 YE の廃棄物プロジェクトでは、パイロット処分場建設及び廃棄物処分場のガイドライン作成であり、パイロット処分場の視察に来た関係者に説明をすることが主な広報活動であった。プロジェクト実施前の大統領令により open dumping が禁止となったため、衛生埋め立ての関心が高くなっていたためである。 説明は newsletter やポスターを使用した。Web site を作成したが更新頻度が低く JICA からの指導も受けたが、web site はアクセスする人が限られるため、Newsletter やポスターの方が広報上有効であったように思う。 Newsletter やポスターの内容は衛生埋め立ての概要やごみの減量について説明したものである。廃棄物の管理は各市の担当であるため、これらの資料を 262 ある市や地域のリーダー、処分場訪問者等に対して配布した。 よって、プロジェクトの性格上、一般の市民に対する広報というより、関係者に対する説明、情報発信という形であった。 プロジェクト実施中にマスコミとの良好な関係を維持することも重要である。機会を</p>		

	<p>とらえて、プレスリリース等をされてはいかがか。なお、プレスリリースを行う場合は前もって JICA の承認を受けておく必要がある。</p> <p>マスコミに対してはプレス・ツアー等を行い処分場の見学会を行った。マスコミに対しては各省に communication section があるため、その部門を活用するとよい。</p> <p>但し、現在大統領選挙1ヶ月前であり、マスコミを利用しての広報活動は禁止されている。</p> <p>7. 下水道関係</p> <p>排水基準・設計基準等について</p> <p>基準等は毎年環境省で出版している環境法令に含まれている。</p> <p>ウルスタンにスペイン（未確認）の援助で建設された下水処理場を訪問したことがある。</p> <p>下水汚泥は処分場で受け入れるそうだが、下水処理自体がほとんど行われておらず、処分場で下水汚泥は現在問題となっていない。</p> <p>設計基準等については、Pan American Organization がガイドラインを作成しているそうなので参考にすることを助言された。</p> <p>将来人口等は先の国政調査（2007年の最新ではなく、その1回前）に含まれていた人口データを活用した。</p> <p>ごみの収集運搬については、圧縮型収集車（輸入）も使用されている。</p> <p>8. その他</p> <p>YEさんの感想としてはエルサルバドル人はまじめとのこと。</p> <p>A4のコピー用紙についてはエルサルバドルの Xerox で直接購入したが、エルサルバドル側への文書はレターサイズを使用しており、A4だけを使用している訳では無い。</p> <p>YEとの協議終了後、JICA 小林氏と日水コンで打ち合わせ</p> <p>9. 追加機材調達の可能性</p> <p>一千万円ほど本プロジェクトに係る事務所の予算が余っている。2年次で調達予定であった機材で前倒しできるような物があれば、連絡していただきたいとの要望があった。</p> <p style="text-align: right;">以上</p>		
	Actions to be taken	by Whom	until When

Record of Meeting/Discussion

Date:	20 February 2009	Time:	from 14:00 to 14:40
Venue:	ANDA Head Office, Ing. Antonio's office		
Meeting/Discussion among			
<input type="checkbox"/>	NRW Reduction Management Team	<input type="checkbox"/>	NRW Reduction Action Team (Metropolitan)
<input type="checkbox"/>	NRW Reduction Action Team (Central)	<input type="checkbox"/>	NRW Reduction Action Plan (Western)
<input type="checkbox"/>	Power-Saving Management Team	<input type="checkbox"/>	Sewerage Planning Team
<input checked="" type="checkbox"/>	Others		
Attendants El Salvador side			
	Name	Position	Department/Organization
1	Ing. Antonio Rafael Mendez	Director de Planificacion y Desarrollo	ANDA
2			
Attendants JICA Exparts (Name)			
	Mr. Takemasa MAMIYA	Mr. Joji Yokokawa	
Main Subject:			
1. Project Operation Methodology			
Topic	Contents of Discussion		Conclusion
1	<p>Director から供与車両について質問</p> <p>【間宮回答】 JICA から 4 台供与され、1 台は専門家用であり、残り 3 台はピックアップで漏水削減技術チーム (3 チーム) 用。</p> <p>Director から佐藤専門家の報告書、センサデータは必要かとの申し出があり、必要であると回答</p> <p>Director からインセプション協議のミニッツは誰が作成するかとの質問</p> <p>【間宮回答】 今回のインセプション協議は最初の JCC であると位置づけたい。また、当方から ICR の説明を行ったので、今回は専門家チームでドラフトする。今後は都度協議することとしたい。</p> <p>Director から JCC はいつ、どの様な頻度で開催するかとの質問</p> <p>【間宮回答】 今回は 3 月までであるので、もう開催しなくてもよいのではないかと。2 年次再度来る時に、JCC 開催スケジュール案を作成してくるので、協議をお願いしたい。開催タイミングは重要なタイミングで開催することとする。また、JCC の議長は ANDA 総裁であり、ANDA が JCC 開催が必要だと判断した時にいつでも開催できると理解している。</p> <p>Director から各チームのミーティングはどの程度の頻度で開催するかとの質問</p> <p>【間宮回答】 ほぼ毎日コンタクトを取りながら仕事を進めていくと考えているが、間宮から各 JICA 専門家には、少なくとも 1 週間に 1 度は定例ミーティングを開催するように指示する予定である。</p>		
Actions to be taken		by Whom	until When

Date: 20.Feb.2009 by: Mr. Mamiya, JICA Expert

Record of Meeting/Discussion



Date:	25 February 2009	Time:	from 10:00 to 11:10
Venue:	JICA エルサルバドル事務所		
Meeting/Discussion among			
<input type="checkbox"/>	NRW Reduction Management Team	<input type="checkbox"/>	NRW Reduction Action Team (Metropolitan)
<input type="checkbox"/>	NRW Reduction Action Team (Central)	<input type="checkbox"/>	NRW Reduction Action Plan (Western)
<input type="checkbox"/>	Power-Saving Management Team	<input type="checkbox"/>	Sewerage Planning Team
<input checked="" type="checkbox"/>	Others		
Attendants JICA El Salvador Office			
	Name	Position	Department/Organization
	1 Orlando Hidalgo Buitargo	プログラムオフィサー	JICA エルサルバドル事務所
Attendants JICA Exparts (Name)			
	間宮 健匡 (チーフアドバイザー)	山本 朋也 (設備管理)	横川 譲治 (通訳)
Main Subject: ・プロジェクトに関する確認事項の打ち合わせ			
Topic	Contents of Discussion	Conclusion	
1	<p>1. 供与・携行機材の調達時期について</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 専門家より、プロジェクト 2 年次に供与・調達予定である力率計について、1 年次の現地調達機材とすることの可否について確認した。 <p>2. プロジェクト 2 年次に実施予定の本邦研修について</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 専門家より、当該本邦研修実施予定時期が 2 年次 4 月であることについて、次の理由により 2 年次 8~9 月に実施することを提案した。 <ul style="list-style-type: none"> ① 研修参加者の人選および渡航手続きに要する十分な期間が得られない、と思われる。 ② 当該研修は ANDA 幹部を対象とすることから、エルサルバドルの新内閣発足後に実施することが適当、と思われる。 <p>3. 現地手配車両にかかる契約額変更について</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 専門家より、JICA プロジェクト車両の供与時期の遅延による現地手配車両の借用費の増額にかかる現地一般業務費内の費目間流用により調整することについて、要する手続きの内容について確認した。 <p>4. JICA 小林所員と架電にて打ち合わせ</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 当該打ち合わせ実施後、項目 1 について JICA 事務所 小林所員と電話にて次の内容を確認した。 <ul style="list-style-type: none"> ① 当該調達機材が現地調達が可能な仕様であるか確認する。 ② 本年度内に機材の納入が可能であるか確認する。 ③ その上で、本邦/現地/第 3 国調達の何れの調達方法が適当であるか、JICA にて判断する。 <p style="text-align: right;">以 上</p>	<p>- JICA 事務所より可否について回答する</p> <p>- JICA 事務所より回答する</p> <p>- JICA 事務所より回答する</p> <p>- 専門家より機材の現地調達に関する情報を JICA へ報告する</p>	

Actions to be taken	by Whom	until When
<ol style="list-style-type: none"> 1. 2年次供与機材の1年次調達の可否に関する回答 2. 本邦研修の実施時期に関する回答 3. 現地一般業務費内の費目間流用の手続きの内容について 4. 項目1の現地調達に関する情報 	<ol style="list-style-type: none"> 1. JICA 事務所 2. JICA 事務所 3. JICA 事務所 4. 専門家 	<ol style="list-style-type: none"> 1. 期日設定なし 2. 期日設定なし 3. 期日設定なし 4. 期日設定なし

Date : 25. February. 2009

by : 山本 朋也, JICA 専門家

Record of Meeting/Discussion

Date:	25 February 2009	Time:	from 9:00	to 9:40
Venue:	TOYOTA-DIDEA			
Meeting/Discussion among				
<input type="checkbox"/>	NRW Reduction Management Team	<input type="checkbox"/>	NRW Reduction Action Team (Metropolitan)	
<input type="checkbox"/>	NRW Reduction Action Team (Central)	<input type="checkbox"/>	NRW Reduction Action Plan (Western)	
<input type="checkbox"/>	Power-Saving Management Team	<input type="checkbox"/>	Sewerage Planning Team	
<input checked="" type="checkbox"/>	Others			
Attendants El Salvador side				
Name		Position		Department/Organization
1 Ing. Alexander *****				ANDA
Attendants JICA El Salvador Office				
Name		Position		Department/Organization
1 Orlando Hidalgo Buitargo		プログラムオフィサー		JICA エルサルバドル事務所
Attendants JICA Exparts (Name)				
間宮 健匡 (チーフアドバイザー)		山本 朋也 (設備管理)		横川 譲治 (通訳)
Main Subject:				
・ JICA プロジェクト供与車両；無取水対策用ピックアップトラック（3台のうち1台）の検収				
Topic	Contents of Discussion			
	<p>2. JICA プロジェクト供与車両；無取水対策用ピックアップトラック3台のうち、1台目の納入検収に立ち会った。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 検収者は JICA 事務所 Orlando Hidalgo Buitargo 氏。また、ANDA Alexander ***** 氏、および専門家が立ち会った。 ・ 検収の結果、納入車両は発注仕様とおりであり不具合などないことを確認した。 <p>2. 今後の手続きについて</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ JICA、ANDA、納入業者とで、それぞれに必要な手続きをすすめることを確認した。 ・ 当該車両は2月27日（金）にANDAへ納車予定。 <p style="text-align: right;">以上</p>			
				
	納入車両の検収風景		納入車両	
Actions to be taken			by Whom	until When

Date : 25. February. 2009

by : 山本 朋也, JICA 専門家

Record of Meeting/Discussion

Date:	3月2日 2009	Time:	from 16:10 To 16:45
Venue:	ANDA Head Office. Ing. Antonio's office		
Meeting/Discussion among			
<input type="checkbox"/>	NRW Reduction Management Team	<input type="checkbox"/>	NRW Reduction Action Team (Metropolitan)
<input type="checkbox"/>	NRW Reduction Action Team (Central)	<input type="checkbox"/>	NRW Reduction Action Plan (Western)
<input type="checkbox"/>	Power-Saving Management Team	<input type="checkbox"/>	Sewerage Planning Team
<input checked="" type="checkbox"/>	Others		
Attendants El Salvador side			
	Name	Position	Department/Organization
1	Ing. Antonio Rafael Mendez	Director de Planificacion y Desarrollo	ANDA
2			
3			
Attendants JICA Expats (Name)			
	Mr. Takemasa MAMIYA	Mr. Joji Yokokawa	
Main Subject:			
1. ICR の修正箇所、ICR のミニッツ、下水道計画策定の活動期間			
Topic	Contents of Discussion		Conclusion
1	ICR の修正箇所について 前もって計画ダイレクターにより提示された、ICR に対するコメントをひとつづつ相互確認。結論として、データのアップデート、文法的な誤りの修正であり、この頂いたコメント通りに修正することを JICA エルサルバドル事務所に説明することとした。		
2	ICR ミニッツについて 専門家チームが作成したミニッツドラフトを提示。 節電対策については、エネルギーの効率化を含めることを記載しており結構であるが、その「活動」というよりは、はっきりと「定義」として取り扱われたいとのコメントがあった。その旨、ミニッツを修正し、JICA エルサルバドル事務所の意見を聴き、再度協議し、署名日程など決めていきたいと話した。		
3	下水道計画策定の活動期間について計画ダイレクターより <ul style="list-style-type: none"> PO などすでにミニッツで合意していることは理解している ANDA から事前調査団に対して、下水道計画策定の重要性をお話したが、上位計画である国土整備計画が不明であり、本プロジェクトのスコープの中で大きく扱うことは困難であると言われた。 しかし、その重要性は変わっていない。 今回の活動状況をみると、他の分野に比べて、あまりにも時間が短すぎると言わざるを得ない。 期間を延長することは可能か？ <p>間宮より：我々は専門家チームであり、投入期間を延長する等の協議する立場にない。但し、現在下水道計画策定に係る問題点の抽出を現在行っており、その結果によっては、専門家チーム帰国後、JICA 東京に対して、解決すべき問題の割に、</p>		

	時間があまりにも短いとの意見を述べることもあるかも知れない。 ANDA としても、ざっくばらんに JICA エルサルバドル事務所に相談してみてもいいか。 計画ディレクター：了解した	
Actions to be taken	by Whom	until When

Date: 5.Mar.2009 by: Mr. Mamiya, JICA Expert

Record of Meeting/Discussion

Prepared by 間宮
Date: 3月5日

Date:	3月4日_2009年	Time:	from 16:30 to 17:15
Venue:	JICA エルサルバドル事務所会議室		
Meeting/Discussion among			
<input type="checkbox"/>	NRW Reduction Management Team	<input type="checkbox"/>	NRW Reduction Action Team (Metropolitan)
<input type="checkbox"/>	NRW Reduction Action Team (Central)	<input type="checkbox"/>	NRW Reduction Action Plan (Western)
<input type="checkbox"/>	Power-Saving Management Team	<input type="checkbox"/>	Sewerage Planning Team
<input checked="" type="checkbox"/>	Others		
Attendants El Salvador side			
	Name	Position	Department/Organization
1	小林実様		JICA エルサルバドル事務所
2			
Attendants JICA Exparts (Name)			
	間宮		
Main Subject:			
ICR の修正、ICR に係るミニッツについて			
Topic	Contents of Discussion	Conclusion	
1	ANDA 計画ダイレクターより受領した ICR に係るコメントを小林氏へ説明。特にプロジェクトの内容、方針に係る変更がないことを説明。	東京にこの旨連絡をするが、ほぼこのコメントに沿って修正することで問題ない。	
2	ICR に係るミニッツのドラフトを説明。ANDA 側の考えでは節電についてあまりにも電気が強調されているので、エネルギー効率化、水運用の効率化が含まれていることを記載と説明。	その趣旨の説明を添えて、間宮から JICA 東京松崎氏宛て、ミニッツドラフトをメールにて送付する。 ミニッツのフォームをエルサルバドルで用いられている形式に修正する。	
Actions to be taken		by Whom	until When
上記結論内容を間宮から JICA 東京松崎氏宛てメールでお知らせする		間宮	3月5日

Record of Meeting/Discussion

Prepared by 間宮
Date: 3月5日

Date:	3月4日 2009	Time:	from 15:10	to 15:45
Venue:	Inga. Karla の執務室			
Meeting/Discussion among				
<input type="checkbox"/>	NRW Reduction Management Team	<input type="checkbox"/>	NRW Reduction Action Team (Metropolitan)	
<input type="checkbox"/>	NRW Reduction Action Team (Central)	<input type="checkbox"/>	NRW Reduction Action Plan (Western)	
<input type="checkbox"/>	Power-Saving Management Team	<input type="checkbox"/>	Sewerage Planning Team	
<input checked="" type="checkbox"/>	Others			
Attendants El Salvador side				
	Name	Position	Department/Organization	
1	Inga. Karla Maria	協力課チーフ	ANDA	
2	Mr. Manuel			
3	Ms. ????? カルラ女史の女性スタッフ			
4				
5				
6				
Attendants JICA Exparts (Name)				
	間宮	横川さん		
Main Subject: プロジェクトのコーディネーションについて				
Topic	Contents of Discussion		Conclusion	
1	それぞれのチームが動き出したが、チームごとのコミュニケーションに加えて、プロジェクト全体のコーディネーションが重要と思うが、その点は今後どのようにすべきかとANDA 協力課は懸念している。		今年次はもう終わってしまうが、次年次からは、各チームで毎日仕事を一緒にしていても、ウィークリーミーティングを開くこととする。また、プロジェクト全体すべてのチームの合同会議を月一回のペースで開催する予定である。それには、関係者、JICA 担当者も招く予定である。プロジェクト全体調整は、おもに間宮が協力課と調整しながら行いたい。	
2	間宮より3月9日からの週に、他の関連ドナーとの協議を行いたいので、アレンジをお願いした。		協力課了解	
Actions to be taken			by Whom	until When
他ドナーとの協議アレンジ			ANDA 協力課	

Record of Meeting/Discussion

Date:	March 9, 2009	Time:	from 10:50 to 12:30
Venue:	Meeting Room of ANDA Head Office, 3 rd floor		
Meeting/Discussion among			
<input type="checkbox"/>	NRW Reduction Management Team	<input type="checkbox"/>	NRW Reduction Action Team (Metropolitan)
<input type="checkbox"/>	NRW Reduction Action Team (Central)	<input type="checkbox"/>	NRW Reduction Action Plan (Western)
<input type="checkbox"/>	Power-Saving Management Team	<input type="checkbox"/>	Sewerage Planning Team
<input checked="" type="checkbox"/>	Others		
Attendants El Salvador side			
	Name	Position	Department/Organization
1	Ing. Juan Carlos Suarez Munoz	Jefe de Proyecto SVD/019	LUX-Development Project
2	Inga. Karla Maria Ciudad Real	Jefe Unidad de Cooperacion	ANDA Head Office
3	Mr. Manuel	Unidad de Cooperacion	ANDA Head Office
4			
Attendants JICA Experts (Name)			
	間宮健匡	横川譲治	
Main Subject:			
ルクセンブルグによる援助と JICA 側援助の情報交換、共有			
Topic	Contents of Discussion		Conclusion
1	<p>JICA 専門家チーム間宮より、本件プロジェクトに関して、IC/R を用いて、その目的、活動内容、成果、スケジュール等について説明。</p> <p>カルロス氏よりルクセンブルグ側のプロジェクトについて以下の通り説明 成果は4つ設定されている。1. 上下水道施設の運転効率が改善される（技術的にシステムの運転効率の向上を目指す）、2. アドミ系（財務含む）の効率改善、3. 投資計画（長期計画）の策定能力開発、4. ANDA の業務システム改善。</p> <p>ANDA の技術強化の一貫として、パイプロケータ（金属管用、非金属管用）を供与し、パイプ位置を確認して、管路図面整備を行う</p> <p>既存のインフラ診断、水収支解析を7月までに行う予定。これらが、上述の投資計画（長期計画）への基礎情報となる。この投資計画は ANDA により策定される。</p> <p>投資計画（長期計画）については、コンサルタントがその計画策定トレーニングを2か月に亘って実施し、48 の水道システムのうち10 のシステムについて計画策定が行えるようにする予定。</p> <p>本プロジェクトは2009年11月に終了するので、当初予定していた漏水探知などは実施できない模様。</p> <p>ANDA の業務システムの改善については、プラットフォームの再構築が必要となるが、まだ ANDA 全体で実施するか決定されていないものの、東部地区には導入される。プラットフォームにはまず管路台帳のモジュールが乗る予定。</p> <p>管路台帳のソフトは AutoCAD Civil 3D を用いているが、水理解析用のソフトは使用していない。</p> <p>Logical Framework of Project という資料を後ほど、JICA 専門家チーム側に送付し</p>		

	<p>てくれる。 3月中は無理であるが、今後5月移行、協力をしていくことで、双方合意。</p>	
2		
Actions to be taken	by Whom	until When

Record of Meeting/Discussion

Prepared by: 間宮健匡
Date: March 13, 2009

Date:	March 12, 2009	Time:	from 15:30	to 16:40
Venue:	Meeting Room of ANDA Head Office, 3 rd floor			
Meeting/Discussion among				
<input type="checkbox"/>	NRW Reduction Management Team	<input type="checkbox"/>	NRW Reduction Action Team (Metropolitan)	
<input type="checkbox"/>	NRW Reduction Action Team (Central)	<input type="checkbox"/>	NRW Reduction Action Plan (Western)	
<input type="checkbox"/>	Power-Saving Management Team	<input type="checkbox"/>	Sewerage Planning Team	
<input checked="" type="checkbox"/>	Others			
Attendants El Salvador side				
	Name	Position	Department/Organization	
1	Mr. Pascal Rossignol	Regional Representative	LUX-Development	
2	Mr. Lic. Charles de Roquefeuil	Jefe de Proyecto SVD/017	LUX-Development	
3	Inga. Karla Maria Ciudad Real	Jefe Unidad de Cooperacion	ANDA Head Office	
4				
Attendants JICA Exparts (Name)				
	間宮健匡	横川譲治		
Main Subject:				
ルクセンブルグによる援助と JICA 側援助の情報交換、共有 LUX-Development, Regional Representative(ニカラグア、エルサルバドル、エクアドル管掌)の Pascal 氏と意見交換				
Topic	Contents of Discussion			Conclusion
1	<p>JICA 専門家チーム間宮より、本件プロジェクトに関して、IC/R を用いて、その目的、活動内容、成果、スケジュール等について説明。</p> <p>Regional Representative, Pascal 氏より以下の説明があった。</p> <p>ルクセンブルグがエルサルバドルの東部地域で 15 年前から活動しているが、飲料水に困っている、中小規模の都市、あるいは村落部を対象としている。これらの地域は他のドナーの援助を受けていない地域であり、このような間隙となってしまう地域の援助に取り組んでいる。特に、東部地域は人口密度が低く、村落が散在していることから、援助対象としている。</p> <p>これまで、4~6 件のプロジェクトを実施してきたが、アプローチは同じであり、1. 技術的な検討、支援、2. 戦略の組み立て、3. プロジェクトの設計、4. プロジェクトの実施という流れである。</p> <p>どのプロジェクトでも、完了後の運転維持管理が最も重要であると認識している。ANDA の現場の職員がきちんと運転維持管理をできるように、現場において一緒に活動しながら、技術移転を図ることが重要であると考えます。</p> <p>また、ANDA の人的資源に限られていることから、コミュニティーがどこまで運転維持管理に関わっていけるのかも重要な問題である。</p> <p>LUX-Development の SVD/019 では、途中でプロジェクトが頓挫するなど問題を抱えていたが、その大きな理由は東部地域でプロジェクトを実施しているにも関わらず、ANDA 本部で事務所を構えていたことが挙げられる。ANDA の本部と支局間の情報伝達、実際に支局で人を動かすことの難しさを非常に感じている。</p>			

	<p>JICA の本件では、NRW 削減技術では3つの支局が対象となっているが、現場に軸足を置くということに留意されるよう、提言させて頂きたい。</p> <p>当方からは、貴重なコメントについて謝意を表すとともに、双方で、今後情報交換で協力していくことを確認した。</p>	
2		
	Actions to be taken	by Whom
		until When

Record of Meeting/Discussion

Prepared by 間宮健匡
Date: March 13, 2009

Date:	March 13, 2009	Time:	from 9:00 to 10:30
Venue:	Meeting Room of ANDA Head Office, 3 rd floor		
Meeting/Discussion among			
<input type="checkbox"/>	NRW Reduction Management Team	<input type="checkbox"/>	NRW Reduction Action Team (Metropolitan)
<input type="checkbox"/>	NRW Reduction Action Team (Central)	<input type="checkbox"/>	NRW Reduction Action Plan (Western)
<input type="checkbox"/>	Power-Saving Management Team	<input type="checkbox"/>	Sewerage Planning Team
<input checked="" type="checkbox"/>	Others		
Attendants EI Salvador side			
	Name	Position	Department/Organization
1	Mr. Juan Jose Castillo	Consultant jcastillo@anda.gob.sv ANDA 内線 : 8398	Inter-American Development Bank (IDB)
2	Inga. Karla Maria Ciudad Real	Jefe Unidad de Cooperacion	ANDA Head Office
3			
Attendants JICA Experts (Name)			
	間宮健匡	横川譲治	
Main Subject: IDB による援助と JICA 側援助の情報交換、共有			
Topic	Contents of Discussion		Conclusion
1	<p>JICA 専門家チーム間宮より、本件プロジェクトに関して、IC/R を用いて、その目的、活動内容、成果、スケジュール等について説明。</p> <p>IDB の活動方針や、現在進行中のプロジェクトについて説明を頂いた。</p> <p>IDB が現在推進しているのは、ANDA の地方分権を支援するものであり、4,370 万ドルの有償の協力である。この中で、水の管理、運転維持管理体制の確立、施設のリハビリテーションに重点をおいている。</p> <p>技術協力としては、法制度整備として、水法及び上下水道法の整備を推進してきたが、中央政府での議論がストップしており、法施行のめどは立っていない。 (法律に関しては、必ず与野党それぞれから代案が提案され、法律が政争の的になることが多く、且つ、水はデリケートな問題であり、すでに 30 年間ほどこの状況が続いている)</p> <p>また、村落部の小規模水道に対して無償の技術協力も行っている。</p> <p>水管理という点では、水源水質保全が重要であると考えており、現在水質マップを作成中である。また、水質関連の 700 人の人々にトレーニングなども行った。表流水系の水質は ANDA が管掌しており、流域全体の水質としては、環境庁の管轄となっている。水道開発の推進と同時に、その水源である水源水質が重要であることを、一般の人々にも浸透させて行きたいと考えている。</p> <p>ANDA の地方分権では、ANDA の既存のシステムをコミュニティや市で管理できるようにしていくものであるが、ANDA と完全に切り離すわけではなく、技術面、財務面、運営面の支援を ANDA から受けながら運営していくものである。このシステムそのものをオペレータと呼んでいるが、すでに 16 のオペレー</p>		

	<p>タが確立され、この 16 のオペレータにより、33 の水道供給システムが運転され、38 の市町村、給水人口 20 万人が裨益している。</p> <p>上記 33 の水道供給システムの中で、24 のシステムについてリハビリテーションを行っており、総計 230km の配水管の敷設替え、約 100 台のポンプ取り換え、配水池 23 か所の建設を実施した。これら 33 システムの NRW の平均は 23% であり、普及率は 65% となっている。普及率は 80% を目標としている。</p> <p>地方分権として、これらのオペレータが今後も ANDA から少し離れた形で持続可能性を維持するためには、その効率の改善が必要不可欠であり、NRW を減らすこと、省エネルギーを図ることが重要な側面となっている。このためのマネージメントの効率化、運転マニュアルの整備なども行っている。</p> <p>また、地方での請求、料金徴収のための情報処理の電子化を進めている。</p> <p>当方からは、貴重な情報について謝意を表すとともに、双方で、今後情報交換で協力していくことを確認した。</p> <p>(16 のオペレータのリスト、および ANDA の地方分権のパンフレットを受領)</p>	
2		
	Actions to be taken	by Whom
		until When

Record of Meeting/Discussion

Prepared by 間宮健匡
Date: March 19, 2009

Date:	March 18, 2009	Time:	from 16:00	to 16:45
Venue:	JICA エルサルバドル事務所、那須所長執務室			
Meeting/Discussion among				
<input type="checkbox"/>	NRW Reduction Management Team	<input type="checkbox"/>	NRW Reduction Action Team (Metropolitan)	
<input type="checkbox"/>	NRW Reduction Action Team (Central)	<input type="checkbox"/>	NRW Reduction Action Plan (Western)	
<input type="checkbox"/>	Power-Saving Management Team	<input type="checkbox"/>	Sewerage Planning Team	
<input checked="" type="checkbox"/>	Others			
JICA エルサルバドル事務所				
	Name		Position	Department/Organization
	那須所長			
	小林職員			
Attendants JICA Exparts (Name)				
	間宮健匡		横川譲治	
Main Subject: IDB による援助と JICA 側援助の情報交換、共有				
Topic	Contents of Discussion			Conclusion
1	<p>JICA 専門家チーム間宮より、今回の現地調査の結果を説明。</p> <p>JICA エルサルバドル事務所からのコメント 下水道チームの構成メンバーに関しては、過去に下水道の本邦研修を受けている人物もいると思われるので、確認し、できればその方にもチームに入ってもらえるようにして頂きたい。</p> <p>電気使用量の推移については、過去 2 年間のものであり、もう少し過去数年間のデータがあるとよいのではないかと。</p> <p>21 日から協力準備調査担当のコンサルタントが現地で調査業務を開始する予定であり、本日の資料を提供したいので、メールにて電子ファイルを送付されたい。</p> <p>来年度の調達予定の資機材であるが、原則として、現地で調達できるものは現地調達となる。仕様書の検討等で支援をお願いしたい。また、手続きは時間がかかるので、早め早めにして頂きたいと思う。</p> <p>ここでいったん専門家チームがエルサルバドルを離れるが、専門家チーム不在の間に、ANDA 側では何を進めている予定なのか。</p> <p>(専門家チームより) NRW 削減技術アクションチームおよび、節電対策チームでは、パイロット地区及びパイロット施設を選定する予備的な検討を開始する。また、NWD 削減計画、下水道整備計画策定チームでは、追加のチームメンバーについて検討を行うこととなっている。</p> <p>今回の大統領選挙で、ANDA 上層部の人事異動も想定されるが、現地事務所ではそれら情報を入手次第東京にも伝達する予定である。</p>			

2		
Actions to be taken	by Whom	until When

第2年次

Record of Meeting/Discussion

Date:	2 June 2009	Time:	from 11:00 to 12:15
Venue:	JICA El Salvador Office		
Meeting/Discussion among			
<input type="checkbox"/>	NRW Reduction Management Team	<input type="checkbox"/>	NRW Reduction Action Team (Metropolitan)
<input type="checkbox"/>	NRW Reduction Action Team (Central)	<input type="checkbox"/>	NRW Reduction Action Plan (Western)
<input type="checkbox"/>	Power-Saving Management Team	<input type="checkbox"/>	Sewerage Planning Team
<input type="checkbox"/>	Others		
Attendants			
	Name	Position	Department/Organization
1	那須 隆一	所長	JICA エルサルバドル事務所
2	金子 健二	次長	JICA エルサルバドル事務所
3	小林 実	所員	JICA エルサルバドル事務所
Attendants JICA Experts (Name)			
	間宮 健匡 (チーフアドバイザー)	青木 保弘 (無収水管理)	小原 幸三 (水道施設管理)
	岡崎 明彦 (漏水削減技術)	和田 徹雄 (下水道計画)	
Main Subject:			
1. エルサルバドルの状況について			
2. 第2年次の活動について			
3. 質疑・コメント			
Topic	Contents of Discussion		
	<p>小林所員より、エルサルバドルの現状や関連事業の説明と間宮チーフアドバイザーより、第2年次調査業務計画書に基づき昨年度の成果及び今年度の活動予定の説明が行われた。その後、第2年次の活動に対する質疑及びコメントがあった。</p> <p>小林所員より</p> <p>1. エルサルバドルの状況について</p> <ul style="list-style-type: none"> 「エ」国大統領が6月1日に就任し、新大統領の就任を受けて、ANDA 新総裁フランシス・ゴメス氏も6月2日より就任した。新総裁は、以前 ANDA、サンサルバドル市で勤務した経歴がある。また、他の省庁の大臣も就任し、Director クラスは今後異動の可能性がある。 ANDA 新総裁については現地 JICA も面識がないことから、面会の予定が設定された場合、現地 JICA にも連絡すること。JICA としては6月から7月に大臣、大使館、現地 JICA 事務所を交えて政策協議を行い、8月末には現地の要望調査を行うため、新総裁との面識を深める必要があると考えている。 環プロ無償については、H21 年度補正予算で日本の最新技術を対象とし、「エ」国では ANDA のポンプ交換と太陽光パネル設置を候補として挙げている。JICA 本部では、環プロ無償を最新技術、事業のアピール効果の点から審査している状況である。補正予算の目的は雇用の確保であり、日本産品が調達されることが大前提であるが、ポンプ等については日本産品の優位性を説明することが困難な状況である。しかし予算枠の消化という観点から、ANDA のポンプ交換という可能性も後からでてくるかもしれない。 協力準備調査については、ANDA 局長の人事異動が考えられることから、下水道分野の現地派遣調査は、人事異動が終わったころの8月か9月ごろを考えている。廃棄物分野は調査員の予定により、6月に現地派遣調査を行う。 IDB が「エ」国で下水道分野の調査を予定している。IDB については、JICA 本部で中南米の事業について連携を模索する動きが、東京とワシントンで行われている。このため、今回の「エ」国での下水道調査が連携の対象になるとも予想されるため、どのような調査であるか専門家チームでフォローしてもらいたい。特に IDB が実施しようとしている、サンサルバドル市を対象とした下水のプレF/Sと呼ばれるプロジェクトのスコープについて明らかにすることが望ましいので、本技プロと関連も深く、情報の収集をして頂きたいと思う。 新型インフルエンザは、「エ」国では現在 30 名の感染者が確認されている。現地 JICA 事務 		

Form RMD

Project for Capacity Development of ANDA for Operational Improvement

	<p>所としては、指定病院をホスピタルディアグピコとし、感染したと思われる場合はこの病院で検査を受けるよう要請する。通院の際は、病院で感染を防ぐためマスクを着用すること。また、インフルエンザの症状が出た場合は、現地 JICA 事務所に連絡すること。現地 JICA 事務所ではタミフルの備蓄があるため、医者の方箋があれば提供可能である。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 治安は今年に入り殺人事件が増えている。このため、引き続き注意が必要である。夜の外出や服装には気をつけること。 ・ 今年度の環境分野の協力は、農牧省への「災害リスク防止のための森林整備事業」と経済省への「再生可能エネルギーマスタープラン」を予定している。 ・ 今年度の活動では、パイロットエリアやモデル地区の選定、機材調達等があるため、スムーズな活動のために計画的に行うこと。また、8月の第一週の1日～9日は現地では休みの可能性があるため、ANDA 側とこの期間の活動は調整すること。 <p>2. 第2年次の活動について チーフアドバイザーより</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 一年次の成果、2年次の活動内容、活動スケジュールを説明した。 2年次の活動については、NRW 削減アクションチームはモデル地区の選定、作業実施のためのバルブ等の設置及び流量測定までを行うことを説明した。節電対策チームは、パイロット地区の選定と水運用の見直しを踏まえたコンデンサやリアクトル設置の設置を行うことを説明した。また、環プロ無償との調整も考慮する。下水道計画チームは研修計画に基づき研修を行い、研修を踏まえ ANDA で下水道計画策定マニュアルを作成することを説明した。下水道の専門家派遣は、ANDA 職員の流量測定などの現地作業も考慮して、二名同時派遣から一名を二回派遣することに変更したことを説明した。 活動スケジュールは、ANDA 新総裁との面会后、JCC 会議を開催し、インセプションのやり直しを行い、本プロジェクトの概要説明を行なう。その後、各チームごとに活動を進めていくことを説明した。各チーム活動中のコミュニケーションは、すべてのチームを集めての全体会議を月一回開催し、ANDA 職員によりチームごとの活動と翌月の活動予定を報告させる。また、各チームごとのチーム会議は週一回開催し、チーム内の活動内容や予定を確認して行うことを説明した。 ・ 派遣前会議のコメントを説明した。 主なコメントは、環プロ無償との連携、IDB の下水道案件、本邦研修の時期であり、特に本邦研修の時期については、ANDA の人事異動の可能性を考慮し、JICA エルサルバドル事務所と相談して決定することを説明した。 <p>3. 質疑・コメント 金子次長より</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 現地調達の際に「エ」国では、免税カードがあれば、プロジェクトの業務に関連するものはその場で免税される。しかし、免税の権限は、店側にあるため店によっては免税が適用されない場合があるため留意すること。 <p>那須所長より</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 新政権は財政難の中、財源の節約を目指しているため、本プロジェクトの節水・節電は新政権においても意義のあるものとする。 ・ 新政権では水を重要施策と位置付け、地方の水アクセスの向上を目指している。また、「エ」国においては、環境整備が重要な援助の柱と考えている。このため、水分野の要望が業務を通じて挙がった場合には、現地 JICA に適宜その内容を連絡すること。 ・ 現在、現地 JICA 事務所では協力準備調査と環プロ無償の準備作業を行っている。このため、本プロジェクトとの調整が生じる場合には、協力をお願いしたい。 ・ JICA 本部では現在中米地区において IDB との連携を模索している。IDB は現在「エ」国において下水案件で調査を行う予定であり、本プロジェクトにおいても下水道が含まれていることから、IDB 調査の動向に注意すること。
--	---

Form RMD

Project for Capacity Development of ANDA for Operational Improvement

<p>金子次長より</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 新政権は地方分権を推し進めようとしている。このため、ANDA の新総裁に上下水道の在り方について、今後とも ANDA が主体となって行っていくのか、廃棄物のように複数の市町村が連携して行っていくかを確認する必要がある。 <p>小林所員より</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 本邦研修の時期については、ANDA 職員の異動も考えられることから、現地 JICA オランダ所員と連絡を取り進めること。 <p>金子次長より</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 本邦研修にあたっては、日本の技術を学ぶためには、技術の背景や経緯を踏まえて行うことが重要であると考え。このため、通常の集団コースによる研修だけでなく、日水コンの企画による研修プログラムも交え行うことが重要と考える。 <p>那須所長より</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 本邦研修は技術だけでなく日本の伝統に触れさせる機会とも考えている。 <p>小林所員より</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ モデル地区やパイロット地区の選定は、安全対策の視点も考慮する必要があり、JICA とも適宜協議を持って決めて行って欲しい。 <p>那須所長より</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 大使館の書記官が交替されるので、JCC 会議等の機会を捉えて、本技プロについても理解をして行きたいとの事であった。 ・ 治安及びインフルエンザに注意すること。 <p>金子次長より</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 治安に注意し、深夜にわたる飲食等にも注意し、あまり日本人であるという身分を明かさないう様に行動することが重要である。 ・ 6月12日に行われる専門家合同会議は、スペイン語で新政権の状況を説明する予定である。このため、当日他の予定があればそちらを優先してかまわない。 <p style="text-align: right;">以 上</p>		
Actions to be taken	by Whom	until When

Courtesy Call to ANDA New President – June 8th 2009

ANDA President, Francisco Jose Gomez.

JICA

Mr. Nasu, Mr. Nanbo, Mr. Kobayashi, Mr. Orlando

JICA Expert Team

Mr. Mamiya, Mr. Aoki, Mr. Okazaki, Mr. Obara, Mr. Wada, Mr. Emilio

JICA Team Presentation.

JICA Expert Team Presentation.

Financial Situation of ANDA is critical.

This government has a great expectative in supplying water to every person in El Salvador, especially or those with low income.

ANDA's President has requested Central Government an operational loan, in other case there is not enough money even to pay salaries.

President clears he is not new in ANDA, he worked there for 16 years, he started as operational staff an climbed to Operation Manager, he was fired and worked in a Private Company. There, he had the opportunity to observe the problems that ANDA had.

These matters have given ANDA's president a clear view of the path to follow in order to get ANDA to work well.

President recognizes the customer service as ANDA's top problem.

ANDA Team Presentation.

JICA explanation of their job.

JICA gives support to El Salvador in 42 areas.

This mission fits into the Natural Resources area. JICA recognizes this mission as one of the most important ones in El Salvador.

President asks if the results of the project will be heritage to ANDA and if during the mission ANDA's technicians will be involved. Carla answers, clearing the formation of work teams for the project.

President asks if the software that will be used can be provided by JICA and if there's possibility that in the future they can provide the updates too. Carla answers, clearing that JICA already did the purchase of a software license and that all the equipment used in the project will be heritage to ANDA. JICA also answers, clearing that they provide technical support and that will leave a group of documents and electronic media in order to ANDA continue the application in the future.

President comments that he left ANDA 21 years ago, that by those days they managed that ANDA losses in NRW was near 40%. He considers that with the 1986 and both 2001 earthquakes, that loss must be higher.

Before the meeting, he was updating himself with Metropolitan Area Manager. He says that they are actually producing 5 cubic meters per second and that the demand is 6 cubic meters per second. This would mean that there is an 80% supply, but real deal is that this is not true.

Metropolitan Area Manager says that real supply should be split. Rationed supply is around 50%, these rationed customers receive water around 60 – 70% of the time. The other 50% is more critical, they receive water around 20 – 30% of the time.

Making a quick draft, President says that the total supply is around 40 – 45% and that means that total losses must be higher.

President asks all the managers not to hide reality, that if ANDA will improve they have to be very sincere in their needs.

JCC METTING IS FIXED FOR MEDNESDAY, JUNE 10th AT 7:00 A.M. AT RESIDENCY OFFICE.

JICA offers Financial Support to ANDA.

President asks for water treatment support.

President offers his personal support for anything JICA needs.

EL PROYECTO DE DESARROLLO DE CAPACIDADES DE ANDA PARA EL MEJORAMIENTO OPERACIONAL
THE PROJECT FOR CAPACITY DEVELOPMENT OF ANDA FOR OPERATIONAL IMPROVEMENT

Lista de asistencia (Attendance List)

Título de la reunión : 2da Reunión de Comité Coordinador Conjunto
(Title of the meeting) : 2nd Joint Coordination Committee Meeting

Lugar (Place) : Presidencia de ANDA

Fecha (Date) : 10 de junio de 2009

Hora (Time): De (From) 7:00 a (to)



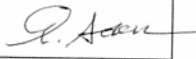
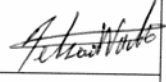



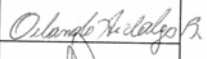

Favor de rellenar su nombre, cargo y organización en esta lista.
(Please fill in your name, title and organization in this sheet).

No	Nombre en letra de molde Name in Print	Cargo/Organización Title / Organization	Firm Signature
1	FRANCISCO JIMÉNEZ	Presidente	
2	José Antonio Vinos	Gerente de Infraestructura	
3	Jose Israel Flores	Gerente Region Metropol.	
4	Rodolfo Decevalle	Gerente Reg. Occidental	
5	MAX SORTO	Gerente Region Central	
6	JUAN Ceavega	Jefe Unidad de EFICIENCIA ENERGÉTICA	
7	Victor Corpeño	SUBGERENTE PLANIFICACION	
8	Karla Gilda Real	jefe Unidad Cooperación	
9	Claudia Escobar	Asist. de Presidencia	
10	Minura Kobu Kashi	A. JICA	



EL PROYECTO DE DESARROLLO DE CAPACIDADES DE ANDA PARA EL MEJORAMIENTO OPERACIONAL
THE PROJECT FOR CAPACITY DEVELOPMENT OF ANDA FOR OPERATIONAL IMPROVEMENT

Favor de rellenar su nombre, cargo y organización en esta lista.
(Please fill in your name, title and organization in this sheet).

No	Nombre en letra de molde Name in Print	Cargo/Organización Title / Organization	Firm Signature
11	Takemasa Mamija	JICA Expert Team	
12	Manuel Rivera	Asistente de proyecto	
13	Yasuhiro AOKI	JICA Expert Team	
14	Tetsuo WADA	JICA Expert Team	
15	Akihiko OKAZAKI	JICA Expert Team	
16	Kozo OBARA	JICA Expert Team	
17	Mariana Taylor	Interpreter. JET	
18	Olando Hidalgo Brito	JICA	
19	Emilio Sura	Interpreter	
20			
21			
22			



Record of Meeting/Discussion

Prepared by_山本 朋也
Date: 2009年6月15日

Date:	June 12, 2009	Time:	from 10:30 to 11:00																					
Venue:	JICA エルサルバドル事務所																							
Meeting/Discussion among																								
<input type="checkbox"/>	NRW Reduction Management Team	<input type="checkbox"/>	NRW Reduction Action Team (Metropolitan)																					
<input type="checkbox"/>	NRW Reduction Action Team (Central)	<input type="checkbox"/>	NRW Reduction Action Plan (Western)																					
<input type="checkbox"/>	Power-Saving Management Team	<input type="checkbox"/>	Sewerage Planning Team																					
<input checked="" type="checkbox"/>	Others																							
Attendants																								
	Name	Position	Department/Organization																					
1	小林 実 様	事務所員	JICA エルサルバドル事務所																					
2																								
Attendants JICA Expats (Name)																								
	間宮 健匡	小原 幸三	山本 朋也																					
Main Subject:																								
JICA 調達機材の調達関連図書について																								
Topic	Contents of Discussion		Conclusion																					
1	<p>JICA 調達機材の調達にあたり、その調達関連図書の作成および作成支援について確認した。</p> <p>JICA 小林所員より</p> <ul style="list-style-type: none"> JICA 機材調達ルールに沿って機材調達を行う。 「現地調達の手引き (和/西語版)」「機材調達に係る内規」および「現地調達研修テキスト」を配布する。これらに沿って必要図書を準備すること。 機材の調達価格と必要手続きは下表のとおり。 <table border="1"> <thead> <tr> <th></th> <th>調達方法 (モデル)</th> <th>契約書の作成 (会計規程第39条)</th> <th>予定価格 (会計規程第38条、 細則第11条)</th> <th>事前公表 (機材調達実施要領第 10条、第11条)</th> <th>高額調達申請 (機材調達実施要 領第6条、第7条)</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>200万円以下</td> <td rowspan="2">見積合せによる 随意契約 (注)</td> <td rowspan="2">省略可</td> <td rowspan="2">省略可</td> <td rowspan="2">不要</td> <td rowspan="2">不要</td> </tr> <tr> <td>200万円超~500万円以下</td> </tr> <tr> <td>500万円超~1000万円未満</td> <td rowspan="3">見積合せによる随意 契約又は指名見積競 争又は指名競争入札</td> <td rowspan="3">要</td> <td rowspan="3">要</td> <td rowspan="3">要 (特命随意契約とな る場合は不要)</td> <td rowspan="3">要</td> </tr> <tr> <td>1000万円以上~2500万円未満</td> </tr> <tr> <td>2500万円以上</td> </tr> </tbody> </table> <p>*会計規程=独立行政法人国際協力機構会計規程 (規程 (経) 第9号)、細則=一般契約事務取扱細則 (細則 (調) 第8号) 機材調達実施要領=機材調達実施要領の制定について (通知 (PR) 第3-25015号) (注) 100,000円を超えない契約の場合は見積書の徴取の省略可 (会計規程第37条)</p> <ul style="list-style-type: none"> JICA エルサルバドル事務所では、契約予定金額が 160 万円を越える場合、予定価格を設定する。 契約金額が 200 万円を超える場合、契約書を作成する。 同一機材であっても分割発注する場合は、各々の契約予定金額で判断する。 専門家は「機材情報シート」「仕様書」を作成する。 銘柄指定の場合は「銘柄指定理由書」を作成する。 			調達方法 (モデル)	契約書の作成 (会計規程第39条)	予定価格 (会計規程第38条、 細則第11条)	事前公表 (機材調達実施要領第 10条、第11条)	高額調達申請 (機材調達実施要 領第6条、第7条)	200万円以下	見積合せによる 随意契約 (注)	省略可	省略可	不要	不要	200万円超~500万円以下	500万円超~1000万円未満	見積合せによる随意 契約又は指名見積競 争又は指名競争入札	要	要	要 (特命随意契約とな る場合は不要)	要	1000万円以上~2500万円未満	2500万円以上	
	調達方法 (モデル)	契約書の作成 (会計規程第39条)	予定価格 (会計規程第38条、 細則第11条)	事前公表 (機材調達実施要領第 10条、第11条)	高額調達申請 (機材調達実施要 領第6条、第7条)																			
200万円以下	見積合せによる 随意契約 (注)	省略可	省略可	不要	不要																			
200万円超~500万円以下																								
500万円超~1000万円未満	見積合せによる随意 契約又は指名見積競 争又は指名競争入札	要	要	要 (特命随意契約とな る場合は不要)	要																			
1000万円以上~2500万円未満																								
2500万円以上																								

Form RMD

Project for Organizational Strengthening and Operational Improvement for ANDA

2	<p>第2年次に調達が必要な機材の予算措置について</p> <p>専門家より</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 第2年次に調達する機材のうち、次の機材は6~7月に調達が必要である。 ・ 管網水理解析ソフトウェア ・ 力率計 <p>JICA 小林所員より</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 予算措置について、JICA 本部 松崎職員に問い合わせし、調達可能時期について確認すること。 		
Actions to be taken		by Whom	until When
「機材情報シート（総合／個別）」、および「仕様書」の作成		専門家	調達時期に応じて
調達機材の予算措置について、JICA 本部に確認		専門家	—

Record of Meeting/Discussion

Date:	16 June 2009	Time:	from 8:30 to 9:00
Venue:	JICA エルサルバドル事務所		
Meeting/Discussion among			
<input type="checkbox"/>	NRW Reduction Management Team	<input type="checkbox"/>	NRW Reduction Action Team (Metropolitan)
<input type="checkbox"/>	NRW Reduction Action Team (Central)	<input type="checkbox"/>	NRW Reduction Action Plan (Western)
<input type="checkbox"/>	Power-Saving Management Team	<input type="checkbox"/>	Sewerage Planning Team
<input type="checkbox"/>	Others		
Attendants El Salvador side			
	Name	Position	Department/Organization
Attendants JICA El Salvador Office			
	Name	Position	Department/Organization
	1 Orlando Hidalgo Buitargo	プログラムオフィサー	JICA エルサルバドル事務所
Attendants JICA Expats (Name)			
	山本 朋也 (設備管理)	Carola Leiva (事務所スタッフ)	
Main Subject:			
・ JICA プロジェクト供与車両：プロジェクト車両の引渡し			
Topic	Contents of Discussion		
	<p>1. JICA プロジェクト供与車両：プロジェクト車両 1 台の引渡しを受けた。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 立会者は JICA 事務所 Orlando Hidalgo Buitargo 氏 ・ 当該車両は不具合などないことを確認した。(引渡時の走行距離は 10km) <p>2. 車両保険書類の引渡し</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 専門家より当該プロジェクト車両の保険契約書類 (写) を JICA 事務所 Orlando Hidalgo Buitargo 氏に手交した。 <p style="text-align: right;">以上</p>		
			
	納入車両の引渡風景	引渡時の走行距離表示	
	Actions to be taken	by Whom	until When

Date : 16. June. 2009 by : 山本 朋也, JICA 専門家

犯罪被害報告書		※ 罪名		※ S.N.	
提出日 平成 21 年 6 月 18 日					
発生国名	エルサルバドル	発生場所	サンサルバドル市 (町)	・市街地 ・路上・バス内・バス停・空港 ・郊外 ・公園・市場・その他 (二か所の可能性あり)	・自宅・事務所・学校・病院
発生日時	平成 21 年 6 月 17 日 (6 月 16 日～ 6 月 17 日の間)	時刻	午前 午後 1 時 00 分頃から 午後 8 時 00 分頃の間	午前	午後
被害者	氏名	間宮健匡	男	任国名	エルサルバドル
	派遣形態 (担当部署)	技術協力プロジェクト専門家		任期	H21 年 2 月～H 23 年 12 月
被害の状況 (被害時のあなたの状態、犯人の言動行為等、すりの場合は被害品を何処に入れていてどのようにして盗まれたのか等を記憶の範囲で可能な限り具体的に記載のこと) プロジェクト車両 (プラド: MI-3636) の車体後部底面に取り付けられていたスペアタイヤ 1 本が盗難にありました。盗難にあった時間は特定できませんが、6 月 16 日 12:45、ANDA 駐車場から車両を保険加入のための GPS 取り付け会社 (Detector 社) に運転手のみで送った (専門家は ANDA 事務所で執務中) のち、取り付け作業が完了したのが 16:00 であったため、そのまま夜間駐車をお願いしている Tropic 社の駐車場に車を戻すように指示をしました。翌朝、専門家チームを Suites Las Palmas でピックアップした後に、ANDA の事務所に到着し、ANDA の駐車場に於いて 8 時過ぎに、車を運転手がチェックしたところスペアタイヤが無くなっていることが判りました。					
凶器	有・無	種類		数量	
被害内容 ・現金 日本円換算で約 _____ 円 ・物品 (品名・数量) プラド・スペアタイヤ 1 本 ・暴行傷害 (負傷部位・全治所要日数) ・損壊 (品名・程度)					
犯人像 (目撃、噂、心当り等) 心当たりは特にありません				犯人は全部で _____ 名	
犯行時の対応 犯行がいつ発生したか分からず、犯行時の対応は取っておりません。		被害場所の略図 被害者としては、夜間車を駐車していた際に、Tropic 社の駐車場において、スペアタイヤが盗難にあったとされておりまして。ところが、6 月 18 日 JICA 事務所の安全対策クларクであるサルバドル・グスマン氏の見解、並びに、届け出た警察の見解では、GPS を取り付けた Detector 社における犯行の可能性も濃厚であるとのことでした。このように 2 か所の可能性がありますが、どちらで犯行が発生したかは不明です。可能性のある 2 か所の住所は以下のとおりです。			
犯行後の対応 6 月 17 日: JICA 事務所に連絡、保険会社の調査を受ける 6 月 18 日: JICA 事務所の指示に従い、警察に届け出		Detector 社: Edificio Palic, AV. Dr. Manuel E. Araujo, Calle Nueva N° 1, Torre Norte Nivel 3, San Salvador Tropic 社駐車場: Final 73 av Sur #B-1, Col. Escalón, San Salvador.			
警察届	有 <input checked="" type="checkbox"/> 無 <input type="checkbox"/>				
事務所コメント (今後の被害防止のための対策を含む)					

* 情報セキュリティ管理細則第 38 条に基づき、情報セキュリティの事象若しくは事象の恐れのある事実が発生した場合又は発見した場合は、発生・発見後直ちに把握できる項目を直ちに情報政策部長 (担当: 情報政策課) に連絡を行い、速時情報セキュリティ事業報告書を作成、情報政策部長に提出すること。
* 犯罪被害の結果、現金類や物品の亡失・損傷事故が発生した場合は、執務要領「現金類の亡失や物品・不動産の亡失・損傷等の事故があった場合の事故報告等の手続きについて」に基づき、所定の手続きを行うこと。(担当: 財務部会計監理課)

2009年6月18日

独立行政法人国際協力機構
エルサルバドル事務所長
那須 隆一様

プロジェクト車両スペアタイヤ盗難に係る報告

エルサルバドル国
上下水道公社事業運営能力
強化プロジェクト
間宮健匡

プロジェクト車両のスペアタイヤ盗難について犯罪被害報告書を提出させて頂きましたが、ここにさらに詳細な状況、経緯、今後の対応等について報告をさせていただきます。

1. 盗難の事実

プロジェクト車両（プラド：MI-3636、車両のレジストレーションは【添付-1】の通り）の車体後部底面に取り付けられていたスペアタイヤ1本が盗難にありました。盗難にあった時間は特定できませんが、6月16日12:45、ANDA 駐車場から車両を保険加入のためのGPS取り付け会社（Detector社）に運転手のみで送った（専門家はANDA事務所執務中）のち、取り付け作業が完了したのが16:00であったため、そのまま夜間駐車をお願いしているTropic社の駐車場に車を戻すように指示をしました。翌朝、専門家チームをSuites Las Palmasでピックアップした後に、ANDAの事務所に到着し、ANDAの駐車場に於いて8時過ぎに、車を運転手がチェックしたところスペアタイヤが無くなっていることが判りました。

2. 盗難判明までの経緯

6月16日火曜日

8:35 本技プロチームの山本専門家、本技プロチームの現地スタッフである、オフィスアシスタント・カローラがJICAエルサルバドル事務所で、事務所のオルランド氏より当該車両を受け取りました。その際に、当該車両を運転する運転手であるホルヘも同行し、JICA事務所からはホルヘ運転手が運転して、ANDAに向かいました。車両を受け取る際には、オルランド氏と車両外観をチェックし、問題なしといたしましたが、車両後部底面に張り付いたような形で装着してあるスペアタイヤについては、確認を行いませんでした。なお、専門家チーム内での車両引き受け時のRMDを【添付-2】に示します

9:40 当該車両はANDA事務所に到着し、ANDA指定の駐車場に駐車しました。

注記 当該車両の使用に当たっては、車両保険をかけております。保険会社はASEGURADORA SUIZA SALVADORENA, S. A.社です。この車両保険を掛ける条件として、GPS（LO JACK）システムを車両に取り付けることとなっており、保険会社から指定されたDetector社（Edificio Palic, AV.

Dr. Manuel E. Araujo, Calle Nueva N° 1, Torre Norte Nivel 3, San Salvador) に車両を持ち込んで GPS を取り付けることになっておりました。

- 12:45 運転手ホルヘに Detector 社に車両を持ち込み、GPS を装着してくるよう指示しました。専門家、事務所スタッフは同行していません。
- 13:00 運転手ホルヘは当該車両を Detector 社に持ち込み、車は同社のワークショップに入れられ、運転手ホルヘは中に立ち入ることはできなかったそうです。(運転手からの聴取)
- 15:45 GPS の取り付けは完了し、運転手ホルヘは GPS の取り付け証明書に署名しました。本来であれば、同時に Detector 社から手交されるべきであった、車の装備の確認書類は運転手ホルヘに、この時点で渡されませんでした。この書類は翌日 e-mail で入手しましたが、【添付—3】に示します。この書類によれば、スペアタイヤは車の持ち込み時、返却時に付属していたこととなります。Detector 社から車を受領した際に、運転手ホルヘは車の外観はチェックしたが、スペアタイヤについては、チェックをしていないとのことでした。(運転手からの聴取)
- 16:15 すでに 16 時となっておりますので、運転手ホルヘには、そのまま駐車場である、Tropic 社の駐車場に車を停めるよう指示しました。

6 月 17 日水曜日

- 7:15 運転手ホルヘにより、当該車両は Tropic 社の駐車場から出され、専門家が滞在しているホテル Suites Las Palmas に到着し、専門家を乗せて ANDA 事務所に向かいました。
- 8:10 運転手ホルヘは ANDA 駐車場において、車をチェックし、スペアタイヤがないことに気がつき、彼の上司である Tropic 社のウエンディー氏に連絡しました。
- 8:20 上記ウエンディー氏は運転手ホルヘからの連絡を受けて、本専門家チームのオフィスアシスタントであるカローラに電話で、スペアタイヤが無いことを伝えました。カローラはそれをチーフアドバイザーである間宮に報告しました。間宮はまさか車両を受領したその晩に盗難に合うとは信じられず、間宮からカローラに対して、JICA 事務所が当該車両のスペアタイヤを屋内に保管してくれているのではないかと、確認してもらうようにカローラに指示をしました。カローラは JICA 事務所のオルランド氏に連絡をとりましたが、残念ながら繋がりませんでした。
- 11:45 カローラは Detector 社にコンタクトし、GPS を装着した際に、スペアタイヤが付いていたかどうか確認をおこないまして、Detector 社が記入したフォームを送付するよう依頼しました。また、オルランド氏と連絡がとれましたが、JICA 事務所セキュリティ担当が外出しており、調べてみて下さるとのことでした。
- 14:45 JICA オルランド氏が連絡を下さり、JICA 事務所ではスペアタイヤを取り外して保管はしていないとの事が判明しました。
- 15:42 Detector 社から e-mail にて【添付—3】の書類が届き、GPS を装着した際に、スペアタイヤが装着されていたことがわかりました。

16:50 保険会社にこの状況を知らせるとともに、JICA エルサルバドル事務所・小林様に間宮からメールでとりあえずの状況をお知らせしました。また、保険会社のインスペクションも行われました。この保険会社のインスペクションシートを【添付—5】に示します。

17:30 間宮から電話で JICA 事務所小林様に連絡し、対処方法について指示を頂きました。

6月18日木曜日

午前9時半から、JICA 事務所安全対策クラークである、サルバドル・グスマン氏と、間宮、及び専門家事務所通訳マリアナを伴って、警察署において、スペアタイヤ盗難の届け出を行いました。盗難の届け出の書類は【添付—4】に示すとおりです。

3. 盗難が発生したと想定される場所

被害者としては、夜間車を駐車していた際に、Tropic 社の駐車場において、スペアタイヤが盗難にあったとっておりました。ところが、6月18日 JICA 事務所の安全対策クラークであるサルバドル・グスマン氏の見解、並びに、届け出た警察の見解では、GPS を取り付けた Detector 社における犯行の可能性も濃厚であるとのことでした。このように 2 か所の可能性があります、どちらで犯行が発生したかは不明です。

Detector 社 : Edificio Palic, AV. Dr. Manuel E. Araujo, Calle Nueva N° 1, Torre Norte Nivel 3, San Salvador

Detector 社外観



サルバドル・グスマン氏によれば、この付近は治安があまり良くなく、当該社の社員が近隣のギャング団と連携してこれらスペアタイヤの盗難に関わっている可能性は十分にあるとのことでした。警察での届け出の際にも、ここでの盗難の可能性は高いとして届け出書類（【添付—4】）にも、それについて記載されております。

Tropic 社駐車場 : Final 73 av Sur #B-1, Col. Escalón, San Salvador.

Tropic 社駐車場外観



上述の Tropic 社ウエンディー女史によれば、これまでこの駐車場で、盗難等の被害が発生した経験はないとのこと。

4. 運転手について

運転手は上述の Tropic 社より雇用しています。安全運転で、責任感のある運転手をお願いするということで、派遣されております。運転手の詳細は以下のとおりです。

氏名 : Jorge Alberto Gaishpal Reyes
住所 Col. Escalon Calle circunvalacion
Final Pasaje #8 Lote #12 S.S

Tropic 社では 2 年前から、必要に応じて運転手の仕事をしております。彼の身分証明書を【添付—6】に示します。

家族は夫人の他に 5 人の子供さんがおり、事情を聴取しても、誠実に正直に対応する印象を受けました。

5. 今回の盗難事件の問題点

JICA 事務所からの車両の受け取り、GPS 取り付け会社への車の搬入、受取り、業務完了後の駐車時、朝の車両を出す時、これら重要なタイミングで当該車両の状況の確認、特にスペアタイヤを含む取り外し可能な部品のチェック・確認が行われなかったことが、状況の把握の遅れ、対処の遅れを引き起こしていると考えられます。

また、上述のとおり、車両の受け取り時での確認を行わなかったため、タイヤ盗難の痕跡としては、切られたチェーンがぶら下がっているだけで、施錠されていたかどうか確認できない状況でした。

そもそも、運転手に車を任せる時点で、必要な安全対策、車の状況の確認などについての指導が不十分であったと反省しています。

6. 今後の対策

1. 駐車場所の変更

Tropic 社での盗難の可能性も否定できないため、当該車両の夜間駐車場所を Hotel Maria Jose に変更します。当該ホテルでは、電動ゲートでホテル一階部分が駐車場として隔離されており、より安全性が向上すると思われれます。

2. スペアタイヤ施錠方式の強化

スペアタイヤが補充された場合、さらに強固な鎖、及び鍵でしっかりと施錠することとします。

3. 車の状況確認の徹底

朝、及び業務完了駐車時の機会をとらえ、車の状況を確認するよう、運転手の指導を徹底します。

4. 運転手の安全管理教育の推進

上述の JICA 事務所安全管理クラーク・サルバドル・グスマン氏によれば、8 月に運転手に対する安全講習があるとのことですので、JICA 事務所のご承認を頂いて、これに運転手を参加させ、運転手の安全管理に対する認識を高めたいと考えます。

5. 専門家の意識の強化

専門家チームの専門家は、物品の扱いにつき善良な管理者の注意義務をもってこれらを扱う必要があることを再認識すべきことを、チームミーティングの際に確認します。

【添付—1】車両レジストレーション





【添付—2】 車両受け取り時の専門家チーム RMD

Record of Meeting/Discussion

Date:	16 June 2009	Time:	from 8:30 to 9:00
Venue:	JICA エルサルバドル事務所		
Meeting/Discussion among			
<input type="checkbox"/>	NRW Reduction Management Team	<input type="checkbox"/>	NRW Reduction Action Team (Metropolitan)
<input type="checkbox"/>	NRW Reduction Action Team (Central)	<input type="checkbox"/>	NRW Reduction Action Plan (Western)
<input type="checkbox"/>	Power-Saving Management Team	<input type="checkbox"/>	Sewerage Planning Team
<input checked="" type="checkbox"/>	Others		
Attendants El Salvador side			
	Name	Position	Department/Organization
Attendants JICA El Salvador Office			
	Name	Position	Department/Organization
	1 Orlando Hidalgo Buitargo	プログラムオフィサー	JICA エルサルバドル事務所
Attendants JICA Exparts (Name)			
	山本 朋也 (設備管理)	Carola Leiva (事務所スタッフ)	
Main Subject:			
・ JICA プロジェクト供与車両：プロジェクト車両の引渡し			
Topic	Contents of Discussion		
	<p>1. JICA プロジェクト供与車両：プロジェクト車両 1 台の引渡しを受けた。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 立会者は JICA 事務所 Orlando Hidalgo Buitargo 氏 ・ 当該車両は不具合などないことを確認した。(引渡時の走行距離は 10km) <p>2. 車両保険書類の引渡し</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 専門家より当該プロジェクト車両の保険契約書類 (写) を JICA 事務所 Orlando Hidalgo Buitargo 氏に手交した。 <p style="text-align: right;">以上</p>		
			
	納入車両の引渡風景	引渡時の走行距離表示	
Actions to be taken		by Whom	until When

Date : 16. June. 2009 by : 山本 朋也, JICA 専門家

【添付—4】 警察にとける盗難届け出書類

POLICIA NACIONAL CIVIL

DIN _____

FORMULARIO DE DENUNCIA

1. DATOS DE LA DENUNCIA

Tel: 22450042

Mr. Virgilio Ronald Rivera

NUMERO DE DENUNCIA _____ No. DE CASO: 5509

FECHA: 20 de junio 2017 en Jusulutla HORA: 10:20

2. DATOS DEL DENUNCIANTE

NOMBRE: Tajemasa Mamija EDAD _____

DOCUMENTO DE IDENTIDAD: NIT-9337-1-20358-101-4

ORIGINARIO: Japón FECHA DE NACIMIENTO: 13-03-58

ESTADO CIVIL: _____ PROFESIÓN: _____

RESIDENCIA: 811a Las Gabarras, C- La Unión #525, SS.

TELÉFONO DE RESIDENCIA: 2263-0222 TELÉFONO CELULAR _____

TRABAJO EN: Proyecto de Desarrollo de Capacidad FNDA para el desarrollo

TELÉFONO DE TRABAJO: Operacional - Agencia Internacional de cooperación del Japón (JICA).

3. DATOS DE LA VICTIMA

NOMBRE: Tajemasa Mamija EDAD _____

SEXO: _____ DOCUMENTO DE IDENTIDAD: _____

ORIGINARIO: _____ FECHA DE NACIMIENTO: _____

PROFESIÓN: _____ ESTADO CIVIL: _____

RESIDENCIA: _____

TELÉFONO DE RESIDENCIA: _____ TELÉFONO CELULAR _____

TRABAJO EN: _____

TELÉFONO DE TRABAJO: _____

4. DATOS DEL HECHO

HECHO: Huillo de llanta de repuesto de vehi

LUGAR: Donde se cayó de Motocicleta de la calle 5 de la zona

FECHA: 16/06/17 HORA: 13:00 hrs. LUGAR: Casa Blanca

MEDIOS EMPLEADOS: _____ ARMA DE FUEGO: _____

ARMA BLANCA: _____

VEHICULO: _____

OTROS MEDIOS: _____

5. IDENTIDAD CONOCIDA DE LOS PRESUNTOS AUTORES

NOMBRE: Sobradillo

ALIAS: _____

TIPO: _____ IDENTIFICACION: _____

DIRECCION: _____

6. TESTIGOS DEL HECHO

NOMBRE:	SEXO:
RESIDENTE EN:	TELEFONO:
NOMBRE:	SEXO:
RESIDENTE EN:	TELEFONO:

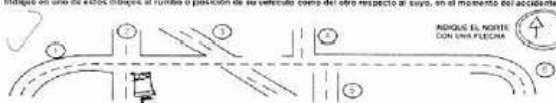
7. RELATO DEL HECHO

Fui llamada el Sr. Tomas Mamiya, que es propietario del SIDA, y que se le daña el vehículo eléctrico, perteneciente al MI-3636, y se da el caso que el caso al artículo a la Empresa DETECTOR para que se le instalara el sistema GPS y al momento fue un caso legal que le fue enviada un plan de reparación, la cual fue enviada de la ordena que la aseguraba; la entrega fue a las 13:00 horas, primeramente dicho vehículo usó 3 horas y pasó finalmente se trasladó hacia una agencia de renta de coches de nombre TRIP, grupo ubicado en av. Ampica # 6077, C.A. Carillon, San Salvador, tel. 503-2279-3236. Por la entrega ha expuesto el Sr. Mamiya asistencia al momento el caso. Y para mayor clarificación se entrega copia para tramitar con la aseguradora.

Firma:  Nombre: 
 Nombre: 71100101 277 Denunciante Investigador que recibe denuncia
 Kena Adalia Estrada

【添付—5】 保険会社のインスペクションシート

FORMULARIO RECLAMOS AUTOMOTORES		EXCLUSIVO ASEBUSA	
Número del Accidente: <u>Oficina de Reparación y Peritaje del ICA</u> Dirección Particular: <u>Calle la Amargosa 521-A col. la</u> Dirección Comercial: <u>masa</u> Número del conductor del vehículo asegurado: <u>1133</u>		Seguro No.: _____ Póliza No.: _____ Tipo de Póliza: <u>DEGROBLES</u> Agente: _____	
Marca: <u>toyota</u> Año / Color: <u>2007 azul</u> Placa: <u>MI 3636</u>		Tipo: <u>carrocería</u> Chasis No.: <u>1K218F2C35</u> Motor No.: <u>16G42J30004013</u>	
Fecha del Accidente: <u>12 de mayo de 2007</u> Hora: <u>16:52</u> pm Dirección exacta del lugar donde ocurrió: <u>primera intersección de A.D.A. con la calle la Amargosa en la zona de los cerros del barrio de San Juan la India - con un bache en la carretera, por donde se desmoronó la zona de tierra en la zona que se muestra en el dibujo adjunto de perfil de personas que viajaban en el vehículo.</u> ¿El espacio no es suficiente para hacer a girar? _____			
Nombre de la persona que lo manejaba: <u>Jorge Cebrera González</u> Fecha de Nacimiento: <u>11-03-1973</u> Licencia No.: <u>DEM-102331021 de posesión</u> Fecha de Expiración: <u>02-02-2012</u> <u>Actualizada</u> La persona que gobierna, es impedida? <input type="checkbox"/> SI <input checked="" type="checkbox"/> NO <u>Categoría: 11</u> <u>Grupo: 11</u> <u>NO</u> <u>Permitido</u> ¿Debe usarse la correa que gobierna el vehículo? <u>SI</u> <input checked="" type="checkbox"/> <u>NO</u> <input type="checkbox"/> ¿Estaba autorizado con el permiso de conducir el vehículo? <input type="checkbox"/> SI <input checked="" type="checkbox"/> NO			
¿Cuáles personas viajaban en el vehículo asegurado? <u>2 personas</u> (Indicar nombre y dirección) _____			
¿Reportó el accidente a las Autoridades? <input checked="" type="checkbox"/> SI <input type="checkbox"/> NO <u>Algunas autoridades policíacas</u> ¿A quién reportó la autoridad? <u>SI</u> <input checked="" type="checkbox"/> <u>de manera común (policía)</u> ¿Aceptó esta autoridad la declaración del conductor? <u>SI</u> <input checked="" type="checkbox"/> <u>con el consentimiento de la autoridad que emitió el informe del accidente</u> Nombre, dirección y teléfono de los inspectores del accidente: _____ <u>NO</u> <u>NO</u>			
¿Cuánto le dio de esta verificación? _____ Marca _____ Clase _____ Nombre, dirección y teléfono del propietario: _____ Nombre, dirección y teléfono del conductor: <u>NO</u> <u>NO</u> Está asegurado? <input checked="" type="checkbox"/> SI <input type="checkbox"/> NO <u>Con este Seguro</u>			

Datos del Vehículo Asegurado	Describe los daños sufridos por su vehículo en el accidente. <i>Mancha de pintura blanca</i>
Responsabilidad Civil por daños a terceros o terceros en sus bienes	Taller donde se pueda ver el vehículo: <i>El taller no fue determinado, porque hay que consultarlo</i> Describe los daños materiales sufridos por el vehículo o por otra clase de bienes: <i>NO HAY</i>
Responsabilidad Civil por daños a terceros o terceros en sus bienes	Nombre y dirección de personas que no se conducían en el vehículo asegurado y que sufrieron daños corporales: <i>NO HAY</i> Descripción de los daños corporales causados por el vehículo asegurado: <i>NO HAY</i> ¿Está hospitalizado? SI <input type="checkbox"/> NO <input checked="" type="checkbox"/> En que lugar? <i>NO HAY</i>
Daños Materiales para los Ocupantes del Vehículo Asegurado	Nombre de los ocupantes del vehículo asegurado que resultaron lesionados y descripción de las lesiones: <i>NO HAY</i> ¿Está hospitalizado alguno de los ocupantes? SI <input type="checkbox"/> NO <input checked="" type="checkbox"/> En que lugar?
Gráfica del Hecho	Indique en uno de estos dibujos el rumbo o posición de su vehículo como del otro respecto al suyo, en el momento del accidente.  INDIQUE EL NORTE CON UNA FLECHA
Fecha de Acto, Firma de Representante	Este documento es instrumento público que los datos contenidos en este primer apartado han sido examinados por el firmante y constituyen una verdadera y completa declaración de los hechos. Me obligo a suministrar a la Compañía todos los informes que me solicite con respecto al siniestro o la indemnización y facilitar a esta para que en su momento pueda obtener información relativa a este reclamo. ME COMPROMETO A NO ACEPTAR RESPONSABILIDAD SIN EL CONSENTIMIENTO PREVIO Y ESCRITO DE LA COMPAÑÍA. <i>A San Salvador 17 de 2009</i> Firma del Asegurado y solo en caso de ser persona jurídica: <i>[Firma]</i> Firma del Conductor: <i>[Firma]</i>
Recomendaciones	IMPORANTE: 1) Adjuntar fotocopia del tarjeta de circulación y licencia del conductor. 2) Cuando el reclamo es por robo, presentar certificación de denuncia hecha ante las Autoridades. 3) Cuando el Siniestro debe conocimiento de inmediato a la Compañía y este conocimiento deberá presentarse dentro de los 18 días siguientes.
Recibido en ASEBUSA con: _____ el día _____ de _____ de _____	

【添付—6】 運転手ホルへの身分証明書



Record of Meeting/Discussion

Prepared by 間健匡 _____
Date: 2009年6月22日

Date:	dd 22 mm 06 2009	Time:	from 14:30 to 14:45
Venue:	ANDA 専門家事務所		
Meeting/Discussion among			
<input type="checkbox"/>	NRW Reduction Management Team	<input type="checkbox"/>	NRW Reduction Action Team (Metropolitan)
<input type="checkbox"/>	NRW Reduction Action Team (Central)	<input type="checkbox"/>	NRW Reduction Action Plan (Western)
<input type="checkbox"/>	Power-Saving Management Team	<input type="checkbox"/>	Sewerage Planning Team
<input checked="" type="checkbox"/>	Others		
Attendants El Salvador side			
	Name	Position	Department/Organization
1	カルラ女史		
2	クラウディアさん		
3			
4			
5			
6			
Attendants JICA Exparts (Name)			
	間宮	マリアナ	
Main Subject:			
現地調査 ANDA 側チームメンバー			
Topic	Contents of Discussion		Conclusion
1	今週のスケジュールの中で、現地調査の行き先が不明なものが多いとのクラウディアさんの意見 間宮から、例えば月曜日にミーティングをして、その場で行き先が決まるという場面もあり、理解を頂きたい。できるだけ早めに知らせると伝えた		
2	間宮から6月25日のワークショップまでには、メンバーを確定して貰いたいと再度依頼 下水は特に、和田専門家の時間が少ないので、状況によっては、一度和田専門家の帰国などを考えざるを得ないかもしれない。 カルラ女史：下水の中の一人は確定しており、その人と始めればよい。 間宮：下水はマニュアルを作成することが目的であり、ANDA側で一人決まっているといわれても、何も始められない。一人でできるものではない。 カルラ女史：了解した。再度総裁をブッシュする。万が一ワークショップまでに決まって居なければ、ワークショップ後に総裁、JICA 小林氏、間宮でミーティングを持ってはどうか？ 間宮：了解した		
Actions to be taken		by Whom	until When

Record of Meeting/Discussion

Prepared by_山本 朋也
Date: 2009年6月23日

Date:	June 22, 2009	Time:	from 17:00 to 18:00
Venue:	JICA エルサルバドル事務所		
Meeting/Discussion among			
<input type="checkbox"/>	NRW Reduction Management Team	<input type="checkbox"/>	NRW Reduction Action Team (Metropolitan)
<input type="checkbox"/>	NRW Reduction Action Team (Central)	<input type="checkbox"/>	NRW Reduction Action Plan (Western)
<input type="checkbox"/>	Power-Saving Management Team	<input type="checkbox"/>	Sewerage Planning Team
<input checked="" type="checkbox"/>	Others		
Attendants			
	Name	Position	Department/Organization
1	小林 実 様	事務所員	JICA エルサルバドル事務所
2			
Attendants JICA Expats (Name)			
	間宮 健匡	小原 幸三	山本 朋也
Main Subject:			
1. 専門家よりプロジェクトの近況報告 2. JICA 調達機材の調達関連図書の提出 3. 小林所員より関連情報提供			
Topic	Contents of Discussion		Conclusion
1	<p>専門家よりプロジェクトの近況を報告した。</p> <p>(1) ANDA 側のプロジェクトチームメンバー選定状況について 成果①「無収水削減技術」リーダー変更も未選定。実務メンバーに変更なし 成果②「無収水削減計画」メンバー再選考中 成果③「節電計画」リーダー以下、メンバーに変更なし 成果④「下水道施設計画」3名中実務1名のみ継続。補充員含み再選考中</p> <p>(2) 専門家の活動状況について</p> <ul style="list-style-type: none"> 6月25日に ANDA 総裁始め関係者に対してワークショップを開催する。 もし、25日までに上記プロジェクトチームメンバーが選定されない場合、ワークショップ会場にて、今後のプロジェクト進行について、ANDA 総裁、小林所員、間宮専門家の三者協議を予定している。 成果①のモデル地区選定にあたって、候補地が絞られた時点で JICA 事務所の安全評価、確認をお願いしたい。 成果④の ANDA チームメンバーの選考が遅々として進んでいない。 <p>25日開催のワークショップまでにメンバーが選考されない場合、状況に応じて下水道計画専門家および下水道処理技術専門家の活動期間を調整・変更することについて、協議したい。</p>		<p>小林所員：了承</p> <p>小林所員：了承</p> <p>小林所員：了承</p>

Form RMD

Project for Organizational Strengthening and Operational Improvement for ANDA

2	<p>6-7月に調達を希望する JICA 調達機材の調達関連図書を提出し、その内容について確認を行った。</p> <p>調達希望機材：力率計(成果③関連)、管網水理解析ソフト(成果③関連)</p> <p>(1) 今回提出した調達機材関連図書について 専門家より、提出した調達機材関連図書について説明した。 関連図書の内容について、JICA 小林所員より次のとおりコメントあり</p> <ul style="list-style-type: none"> ・現時点で、本部より関連予算の示達がなされていない。 よって、調達可能時期は未定である。 ・力率計について、調達図書、および参考銘柄について了解した。 今回調達数量は 10 セットであるが、契約書では 30 セットとなっている。年度末に追加発注について再協議としたい。 ・管網水理解析ソフトは、業務指示書で提示した「WaterCAD」から「WaterGEMS」に変更することは了解した。ただし、次の点について留意願いたい。 <ul style="list-style-type: none"> ・「WaterGEMS」に特定する場合、「銘柄指定理由書」を提出のこと ・メキシコ国の代理店の場合、第三国調達となりメキシコ事務所の担当となる。 ・インターネット購入は先払いが慣習となっている。JICA 調達は原則、納品後支払いであり代理店の契約条件を確認すること 	<p>専門家：了解</p> <p>専門家：了解</p> <p>専門家：了解</p>	
3	<p>小林所員より、次の関連情報を頂戴した。</p> <p>(1)「エ」国環境大臣の表敬面談について</p> <ul style="list-style-type: none"> ・新任環境大臣より、「エ」国の優先課題について次の通り説明があった。 <ol style="list-style-type: none"> ① 火山帯周辺地域の防災対策 ② 河川水質汚濁対策（住民参加型の取り組み） ③ 新エネルギー導入・省エネルギー化の推進 ④ 都市部および周辺の環境計画の策定・実行 <p>(2) JICA 事務所 新規プロジェクト案件計画について</p> <ul style="list-style-type: none"> ・平成 22 年度プロジェクト案件の提出期限が 8 月末である。水分野の協力で良い案件があれば提案願いたい。 ・ANDA への有償案件調査の専門家派遣に際し、適当な時期を提案願いたい。 専門家より：平成 21 年度末頃が適当と思われる旨、提案した。 ・環境プロジェクト無償案件候補に挙げている ANDA ポンプ施設の改修について、プロジェクト専門家が候補地を訪れる機会に合わせ、在「エ」国日本大使館の丸橋書記官も同地を視察することとしたい。適当な時期を提案願いたい。 <p>(3) そのほか</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ANDA 要請の下水道整備計画シニアボランティアが着任の見込み。プロジェクトの成果を引き継ぎ活動することとなる。 	<p>専門家：了解</p> <p>専門家：回答済</p> <p>専門家：了解</p> <p>専門家：了解</p>	
Actions to be taken		by Whom	until When
2	管網水理解析ソフトの「銘柄指定理由書」の提出	専門家	—
2,3	JICA 事務所小林所員からの要請事項	専門家	—

Record of Meeting/Discussion

Prepared by Mamiya, Drafted by Ms. Mariana
Date: June 24, 2009

Date:	dd 23 mm 06 2009	Time:	from 12:45 to 13:15
Venue:	ANDA President Office in ANDA HQs		
Meeting/Discussion among			
<input type="checkbox"/>	NRW Reduction Management Team	<input type="checkbox"/>	NRW Reduction Action Team (Metropolitan)
<input type="checkbox"/>	NRW Reduction Action Team (Central)	<input type="checkbox"/>	NRW Reduction Action Plan (Western)
<input type="checkbox"/>	Power-Saving Management Team	<input type="checkbox"/>	Sewerage Planning Team
<input checked="" type="checkbox"/>	Others		
Attendants El Salvador side			
	Name	Position	Department/Organization
1	Mr. Francisco Gómez	President	ANDA
2	Ms. Claudia Escobar	Assistant to the President	ANDA
3	Ms. Karla Ciudad Real	Cooperation Unit	ANDA
4			
5			
6			
Attendants JICA Experts (Name)			
	Mamiya	Ms. Mariana	
Main Subject:			
ANDA Project Members Project operation			
	Topic	Contents of Discussion	Conclusion
1		<p>Due to the fact that the Government authorities have changed since last June 1, 2009, there might be changes in the members of the working teams (Non Revenue water-NRW, Energy Saving and Sewerage Planning). The purpose of the present meeting was mainly to define the members of the teams, enabling the project to kick off with a sound start as soon as possible.</p> <p>In his interest to appoint the most suitable members for each of the working teams, Mr. Gómez expressed his will to study the profiles of the current staff allocated to each team to be able to define the ideal personnel for each field.</p> <p>Mr. Mamiya manifested his gratitude for Mr. Gómez's interest in allocating the best possible staff for the Project; however, he stressed the need to proceed with the Project's activities as soon as possible.</p> <p>Three (3) weeks have passed since the expert team's arrival, so the need to start with activities is becoming urgent. Moreover, the sewerage planning team (SPT) is of great concern because of the short time period assigned to the expert on this area, as well as the need for more staff from other areas (legal, financial) to work on the elaboration of the Sewerage Planning Manual.</p> <p>In such sense, Mr. Gómez decided to leave the team members as they are with the flexibility of some adjustments in a near future. He emphasized that no major changes will be made regarding the members of all teams.</p>	<p>Mr. Gómez decided to leave the team members as they are with the flexibility of some adjustments in a near</p>

Form RMD

Project for Organizational Strengthening and Operational Improvement for ANDA

	<p>With regards to the SPT members, which are a priority according to Mr. Mamiya, the following persons were assigned by Mr. Gómez:</p> <ul style="list-style-type: none"> - Ms. Daniela Rodriguez, Financial section It is worth mentioning that Ms. Rodriguez is the person assigned to work on the new tariff system for ANDA. - Mr. William Zuniga, Legal section In case that Mr. Zuniga is unable to fulfill such post, he will assign someone from the legal unit staff to cover for this responsibility. <p>Both persons appointed as new SPT members will be invited to the 1st Workshop of the Project to be held this Thursday 25th of June, 2009.</p>	<p>future</p> <p>Additional SPT members were appointed</p>	
2	<p>Ms. Ciudad Real mentioned that the JICA Expert Team office has been experiencing internet issues concerning the access to some web sites, the sending of e-mails and downloading of files.</p> <p>Additionally, desks had been requested for two new Japanese experts coming next week.</p> <p>In response to this, Mr. Gómez said that any problems, requests or needs should be taken care of immediately. He added that his assistant, Ms. Escobar, just needs to get a phone call from the JICA Expert Team to handle any difficulties or requests manifested.</p> <p>The internet issues and furniture supply will be of course overcome.</p>		
3	<p>Mr. Gómez's message to Mr. Mamiya was that it is necessary for the Japanese experts to perceive a good working will from the ANDA staff toward the Project. All counterpart team members must contribute to the Project's activities. If this is not the case, he should be informed immediately, to tackle with any drawbacks or difficulties which might be presented; thus preventing any obstacles impeding the smooth development of such an important Project.</p>		
Actions to be taken		by Whom	until When

Record of Meeting/Discussion

Date:	July 1, 2009	Time:	from	10:30	to	11:30
Venue:	ANDA Head Office					
Meeting/Discussion among						
NRW Reduction Management Team		NRW Reduction Action Team (Metropolitan)				
NRW Reduction Action Team (Central)		NRW Reduction Action Plan (Western)				
Power-Saving Management Team		Sewerage Planning Team				
<input checked="" type="checkbox"/> Others						
Attendants El Salvador side						
Name		Position		Department/Organization		
Ms. Yanet Diaz		<i>Technical Director</i>		ANDA		
Mr. Armando Ramirez		<i>Infrastructure Manager</i>		ANDA		
Ms. Karla Ciudad Real		<i>Cooperation unit</i>		ANDA		
Mr. Juan Ceavega		<i>Team Leader of Energy Saving</i>		ANDA		
Attendants JICA Experts (Name)						
Mr. Tetsuo WADA						
Mr. Takemasa MAMIYA						
Ms. Mariana (interpreter)						
Main Subject:						
<ol style="list-style-type: none"> 1. General Outline of the Project 2. Team Members 3. August Vacation 						
Topic	Contents of Discussion				Conclusion	
1	<p>New Technical Director Ms. Yanet Diaz and new Infrastructure Manager Mr. Armando Ramirez were introduced to JICA Expert Team.</p> <p>The new Technical Director and Infrastructure Manager received an explanation of the overview of the Project, which was presented firstly by Ms. Karla, followed by further explanation by Mr. Mamiya.</p> <p>1. General Outline of the Project</p> <p>The following general points of the projects were outlined, with aid of hardcopies of the material presented at the second Joint Coordination Committee (JCC) meeting:</p> <p>Explanation by Ms Karla</p> <ul style="list-style-type: none"> -Basically, the Project focuses on technical assistance for capacity development in three main topics; namely, NRW reduction, Energy efficiency, and Sewerage planning. -The target areas of the project are the Central, Metropolitan and Western regions. The Eastern region is not considered within the Project's scope because the Luxemburg Development cooperation is already implementing similar efforts in such region. -The topics considered within the project cover some of ANDA's main needs. -Ms. Karla mentioned that the project's investment is of \$US4.4 million 					

Form RMD

Project for Capacity Development of ANDA for Operational Improvement

	<p>American Dollars.</p> <p>-There are seven (7) Japanese experts assigned to work for the project.</p> <p>Explanation by Mr. Mamiya -A very significant point stressed by Mr. Mamiya is that ANDA is the main player of this project, and the Japanese experts are support for ANDA.</p> <p>-The general schedule of the project was explained.</p> <p>-Important points on the three topics (NRW reduction, Energy efficiency, and Sewerage planning) were explained.</p> <p>-The expected results for the 2nd year of activities were explained.</p> <p>-Training in Japan needs to be discussed in near future, to consider the candidates participating.</p> <p>-Among the obligations of the Salvadorian side, the main point discussed concerned the budgetary arrangements needed for the implementation of the project's activities.</p> <p>Ms. Karla pointed out that Mr. Gomez has already manifested his support for the budget allocation in interest of the smooth development of the project.</p> <p>-The formation of the JCC as managers of the Project was pointed out.</p> <p>-Joint evaluations by JICA and ANDA will be carried out in the middle of the project and six (6) months before the completion of the Project.</p> <p>2. Team Members A list of team members for the six (6) working teams which were appointed by ANDA in last March was shown by Mr. Mamiya. After that, a new list was presented in this June.</p> <p>Mr. Mamiya highlighted the names in blue of the members who are no longer in ANDA, and showed this to Ms. Diaz and Mr. Ramirez.</p> <p>The importance of assigning the members is attributed to the fact that the activities need to kick off start as soon as possible, especially the sewerage planning team (SPT) activities because of Mr. Wada's earlier departure back to Japan.</p> <p>Regarding the SPT, according to discussions with Mr. Viera and Mr. Gomez, two (2) additional members were required; one (1) from the financial section and one (1) from the legal section. Furthermore, Mr. Meza who is member of the SPT had appointed two (2) technicians from O&M to join such team.</p> <p>Concerning Central and Western Regional office managers, new substitutional managers will be appointed as same position (Team leader of Central and Western NRW Reduction Action Teams).</p> <p>Ms. Diaz will discuss this matter with Mr. Gomez on Saturday (0704_2009),</p>	
--	--	--

Form RMD

Project for Capacity Development of ANDA for Operational Improvement

	<p>so that on Monday (0706_2009) the final official list of members is ready and presented to Mr. Mamiya.</p> <p>Moreover, Ms. Diaz asked Ms. Karla to please identify the regions in which the members currently listed work in as well as their posts, to enable the discussion with Mr. Gomez.</p> <p>3. August Vacation</p> <p>The August national holiday runs for a week, from the 1st to the 9th of August. Thus, Mr. Mamiya and Mr. Aoki who are scheduled to leave for Japan on the 12th of August would only have two working days on that month (10, 11). Mr. Mamiya wanted to confirm if this is the case, and if such, an arrangement to the original schedule would have to be made to leave and come back before planned, to use the working time as efficiently as possible.</p> <p>This is another topic which shall be discussed among Ms. Diaz and Mr. Gomez on Saturday (0704_2009); nonetheless, Ms. Diaz expressed that she is almost certain in that Mr. Gomez will decide not to grant such long holidays in the institution.</p>		
	Actions to be taken	by Whom	until When

Record of Meeting/Discussion

Prepared by_山本 朋也
Date: _2009年7月2日

Date:	July 2, 2009	Time:	from 9:00 to 9:50
Venue:	JICA エルサルバドル事務所		
Meeting/Discussion among			
<input type="checkbox"/>	NRW Reduction Management Team	<input type="checkbox"/>	NRW Reduction Action Team (Metropolitan)
<input type="checkbox"/>	NRW Reduction Action Team (Central)	<input type="checkbox"/>	NRW Reduction Action Plan (Western)
<input type="checkbox"/>	Power-Saving Management Team	<input type="checkbox"/>	Sewerage Planning Team
<input checked="" type="checkbox"/>	Others		
Attendants			
	Name	Position	Department/Organization
1	小林 実 様	事務所員	JICA エルサルバドル事務所
2	Orlando Hidalgo	プログラムオフィサー	JICA エルサルバドル事務所
Attendants JICA Expats (Name)			
	間宮 健匡	山本 朋也	Victor Manuel Valverde Rivera
Main Subject:			
<ol style="list-style-type: none"> JICA 調達機材「力率計」の開札 プロジェクトの状況報告 小林所員より関連情報提供 			
Topic	Contents of Discussion		Conclusion
1	<p>JICA 調達機材「力率計」の開札を行った。</p> <ul style="list-style-type: none"> 見積り引き合いは、次の3つの代理店 <ul style="list-style-type: none"> CSH INGENIERIA 社 ELECTRO PARTS 社 QUANTICO SA DE CV 社 3社の提案見積り書より、仕様、数量、価格、納期について確認した。その結果、「QUANTICO SA DE CV 社」の提案内容が、発注機材仕様に合致し、かつ予定価格を下回る最も安価な価格提示であったため、同社を最低価格入札者（一番札）とした。 今後、JICA 事務所が、最低価格入札者との契約協議を行う。 		
2	<p>専門家よりプロジェクトの近況を報告した。</p> <p>(1) ANDA 側のプロジェクトチームメンバー選定状況について</p> <p>成果①「無収水削減技術」首都圏支局：メンバー変更なし 中部支局：リーダー、広報担当者変更 西部支局：リーダー変更</p> <p>成果②「無収水削減計画」メンバー全員変更、選考中</p> <p>成果③「節電計画」リーダー以下、メンバーに変更なし</p> <p>成果④「下水道施設計画」3名中、2名変更。選考中。</p>		小林所員：了承

Form RMD

Project for Organizational Strengthening and Operational Improvement for ANDA

2	<p>(2) 成果①のモデル地区選定について</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 首都圏支局、中部支局、西部支局、それぞれのモデル地区候補地の選定状況を、説明資料と共に説明した。 ・ 7月8日(水)もしくは9日(木)に、JICA 事務所による上記候補地の状況視察を実施予定。 JICA 事務所から、小林所員、Orland 所員、安全対策クラークが視察を実施し、専門家、ANDA も同行する。 <p>(3) その他</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ ANDA 新技術・計画部長との面談について、概要を報告した。 7月4日(土)に、ANDA 総裁と同技術部長が ANDA 側プロジェクトチームメンバーの再選考について協議する予定。 翌週7月6日(月)に、ANDA から改選メンバー名の通知を受ける見込み。 ・ 6月度調査業務報告書を提出した。 	<p>小林所員：了承</p> <p>専門家：了解</p> <p>小林所員：了承</p> <p>小林所員：受領</p>	
3	<p>小林所員より、次の関連情報を頂戴した。</p> <p>(1) プロジェクト収集資料について</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 成果④「下水道施設計画」にて収集した技術・法規資料について、西語の英訳版資料、および英語版資料について、JICA 事務所 Orland 所員に提出すること。 <p>(2) その他</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 小林所員は、一時帰国のため7月11日～27日の期間、不在となる。 	<p>専門家：了解</p> <p>専門家：了解</p>	
Actions to be taken		by Whom	until When
3	「下水道施設計画」の収集資料の提出	専門家	—
			—

Record of Meeting/Discussion

Prepared by_和田 徹雄
Date: 2009年7月7日

Date:	July 7, 2009	Time:	from 10:00 to 10:30
Venue:	JICA エルサルバドル事務所		
Meeting/Discussion among			
<input type="checkbox"/>	NRW Reduction Management Team	<input type="checkbox"/>	NRW Reduction Action Team (Metropolitan)
<input type="checkbox"/>	NRW Reduction Action Team (Central)	<input type="checkbox"/>	NRW Reduction Action Plan (Western)
<input type="checkbox"/>	Power-Saving Management Team	<input type="checkbox"/>	Sewerage Planning Team
<input checked="" type="checkbox"/>	Others		
Attendants			
	Name	Position	Department/Organization
1	小林 実 様	事務所員	JICA エルサルバドル事務所
2			
Attendants JICA Experts (Name)			
	間宮 健匡	和田徹雄	
Main Subject:			
ANDA の人事異動に伴う各チームの状況について 無収水削減技術の漏水モデル地区の視察について 無収水削減技術のモデル地区での実施に伴う漏水バルブ等の調達機材について			
Topic	Contents of Discussion		Conclusion
1	<p>ANDA の人事異動に伴う各チームの状況を以下の通り説明した。 無収水削減チームは主要メンバーの変更が少ないため、現在モデル地区の選定を行っている。 節電対策チームは主要メンバーの変更がないことから、予定通り活動を行っている。 無収水削減マネジメントチームと下水道計画チームは、主要メンバーが変更となったことから、カウンターパートの ANDA との活動ができていない状況である。特に下水道計画チームについては、2年次でその活動が終了することから、活動の停滞が懸念される。</p> <p>JICA 小林所員より</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ JICA からも総裁、Diaz 部長との面談時をとらえてメンバーの選定をお願いする。 ・ 7月まで ANDA の人事異動は行われる可能性が考えられることから、下水道計画チームのキーメンバーで活動を開始し、専門家が帰国後はそのキーメンバーが正式に決定したメンバーに技術移転を行うことを検討することが望ましい。 		
	<p>無収水削減技術のモデル地区の視察については、7月8日に JICA とともに行うことを確認した。</p> <p>小林職員より</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ モデル地区では夜間作業を伴い、首都圏支局や中部支局は夜間作業後サンサルバドルの宿舎への帰宅は可能と考えられるが、西部支局においては帰宅が難しいと思われる。西部支局のモデル地区視察の際にはサンタアナの警察署において西部のモデル地区の治安状況を確認する。 ・ モデル地区での警護に関しては ANDA 側の手配と考えているが、警察では要 		

Form RMD

Project for Organizational Strengthening and Operational Improvement for ANDA

	<p>人警護として一人当たり一日 10\$前後で警護を委託することが可能であるため、必要であれば検討する。</p>	
<p>2</p>	<p>無取水削減技術のモデル地区で必要となる漏水バルブ等の調達機材については、調達金額が 500 万円以下となることを説明した。 また、今後の調達の日程は、主要部分が完成した調達書類で 7 月 10 日午前 11 時に JICA で打合せを行い、7 月 13 日に必要書類一式を JICA に提出し、岡崎専門家が帰国する 7 月 28 日までに調達先の評価・選定を行う工程を説明した。 さらに、実際の調達資機材の納品は 2 カ月程度かかると考えられることから、バルブ等の納品は次回岡崎専門家が派遣される 10 月ごろとなることを説明した。</p> <p>小林所員より ・小林所員が 7 月 11 日から 7 月 28 日まで帰国するため、7 月 25 日までは近藤職員が ANDA 技プロの業務を担当する。</p>	
<p>Actions to be taken</p>	<p>by Whom</p>	<p>until When</p>

Record of Meeting/Discussion

Prepared by_山本 朋也
Date: 2009年7月10日

Date:	July 10, 2009	Time:	from 11:00 to 12:00
Venue:	JICA エルサルバドル事務所		
Meeting/Discussion among			
<input type="checkbox"/>	NRW Reduction Management Team	<input type="checkbox"/>	NRW Reduction Action Team (Metropolitan)
<input type="checkbox"/>	NRW Reduction Action Team (Central)	<input type="checkbox"/>	NRW Reduction Action Plan (Western)
<input type="checkbox"/>	Power-Saving Management Team	<input type="checkbox"/>	Sewerage Planning Team
<input checked="" type="checkbox"/>	Others		
Attendants			
	Name	Position	Department/Organization
1	小林 実 様	事務所員	JICA エルサルバドル事務所
2			
Attendants JICA Experts (Name)			
	岡崎 明彦	山本 朋也	
Main Subject:			
1. JICA 調達機材の調達関連図書の提出			
2. NRW モデル地区の選定について			
3. 小林所員より関連情報			
Topic	Contents of Discussion		Conclusion
1	<p>成果①「無取水削減技術」の活動にて使用する JICA 調達機材の調達関連図書を提出し、その内容について確認を行った。</p> <p>調達希望機材：仕切弁(成果①関連)</p> <p>(1) 今回提出した調達機材関連図書について</p> <p>専門家より調達機材関連図書について、個別情報シート、仕様書、カタログ、代理店リストの4点を紙面にて提出し、説明した。</p> <p>ただし、予定価格設定の根拠とする参考見積書は、引き合い依頼中の代理店4社の見積書提出が遅れており、7月13日(月)に提出する旨を伝えた。</p> <p>関連図書の内容について、JICA 小林所員より次のとおりコメントあり。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 調達価格が500万円以下の場合、見積競争入札で購入先を選定する。 ・ 調達にあたり、選定した代理店と契約書を締結する。その契約書作成にあたり、JICA 事務所顧問弁護士より、専門家へ技術的な内容確認を行うことがある。その際、対応すること。 ・ 機材の納入先について、オランダ所員が問い合わせるので施設名、住所を指定すること。 ・ 代理店リストに、見積り引き合い先として選定した理由を明記すること。 ・ 納品後の機材管理方法は、事後の会計検査の際など、調達機材の所在を容易に確認できることが望ましい。施工により地中埋設される機材や、保管品として在庫品と混同しやすいものなどは、特に配慮を必要とする。機材管理方法を提示すること。 ・ 複数種の機材の発注方法の選定について、その理由と共に説明すること。 ・ 機材の希望納期を指定すること。 ・ 機材の納品時には、検品・立会い検査を実施する。 		<p>専門家：了解</p> <p>専門家：了解</p> <p>専門家：了解</p> <p>専門家：了解</p> <p>専門家：了解</p> <p>専門家：了解</p> <p>専門家：了解</p> <p>専門家：了解</p> <p>専門家：了解</p>

Form RMD

Project for Organizational Strengthening and Operational Improvement for ANDA

2	<p>NRW モデル地区の選定について</p> <p>(1) 専門家より NRW モデル地区の選定について説明した。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 7月8日の JICA 事務所のモデル地区候補地の安全状況確認を受け、首都圏支局と中部支局のモデル地区は確定した。 ・ 治安問題が指摘された西部支局の候補地について、代替地区や既選定地区の範囲を縮小するなど検討中であり、7月13日までを目処に代替案を選定する。 <p>(2) 小林所員より次のとおりコメントあり。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ JICA 事務所では「安全確保」が最優先事項である。 ・ 西部支局の NRW モデル地区候補地の再選定後、JICA 事務所オランダ所員、安全対策クラークによる当該地区の安全状況確認を実施する。 ・ ANDA より提出される「NRW モデル地区選定正式通知書」の受領を以って、JICA 事務所より NRW モデル事業の実施について「安全対策条件」を書面にて返信する。そこで提示した安全条件を ANDA が満たすことを前提に、事業実施を承諾することとなる。 ・ 中部地区、西部地区のモデル事業実施期間中は、モデル地区近郊に専門家が待機可能な施設を確保したい。ANDA が然るべき施設を提供することが望ましい。 ・ 「安全対策条件」は JICA 事務所の安全対策クラークが設定する。 ・ NRW モデル地区について、後日、安全対策クラークが夜間の安全状況も確認する予定である。 ・ 西部支局サンタ・アナ市における武力集団の縄張り情報を提供する。安全対策に活用されたい。 	<p>小林所員：了解</p> <p>専門家：了解</p> <p>専門家：了解</p> <p>専門家：受領</p>	
3	<p>小林所員より、次の関連情報をいただいた。</p> <p>(1) 小林所員の不在について</p> <p>7月11日～27日の期間、小林所員が JICA 事務所不在となる。その期間、プロジェクトに関する業務は、近藤所員、およびオランダ所員が対応する。</p> <p>(2) その他</p> <p>「エ」国東部地区における ANDA の事業方針について、ANDA プロジェクト専門家と情報交換を行いたい。間宮専門家の都合の良い日時に協議の機会を設けたい。</p>	<p>専門家：了解</p> <p>専門家：了解</p>	
Actions to be taken		by Whom	until When
1	<ul style="list-style-type: none"> ・ 調達機材の予定価格設定用の参考見積書の提出 ・ 調達機材の納入先情報の提供 ・ 見積り引き合い代理店の選定理由の明示 ・ 調達機材管理方法の提案 ・ 機材発注方法の提案とその理由の明示 ・ 調達機材の希望納入期日の明示 	専門家	—
2	<ul style="list-style-type: none"> ・ 西部支局の NRW モデル地区候補地の再選定情報 	専門家	—

Form RMD

Project for Organizational Strengthening and Operational Improvement for ANDA

2	<p>NRW モデル地区の選定について</p> <p>(1) 専門家より NRW モデル地区の選定について説明した。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 7月8日の JICA 事務所のモデル地区候補地の安全状況確認を受け、首都圏支局と中部支局のモデル地区は確定した。 ・ 治安問題が指摘された西部支局の候補地について、代替地区や既選定地区の範囲を縮小するなど検討中であり、7月13日までを目処に代替案を選定する。 <p>(2) 小林所員より次のとおりコメントあり。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ JICA 事務所では「安全確保」が最優先事項である。 ・ 西部支局の NRW モデル地区候補地の再選定後、JICA 事務所オランダ所員、安全対策クラークによる当該地区の安全状況確認を実施する。 ・ ANDA より提出される「NRW モデル地区選定正式通知書」の受領を以って、JICA 事務所より NRW モデル事業の実施について「安全対策条件」を書面にて返信する。そこで提示した安全条件を ANDA が満たすことを前提に、事業実施を承諾することとなる。 ・ 中部地区、西部地区のモデル事業実施期間中は、モデル地区近郊に専門家が待機可能な施設を確保したい。ANDA が然るべき施設を提供することが望ましい。 ・ 「安全対策条件」は JICA 事務所の安全対策クラークが設定する。 ・ NRW モデル地区について、後日、安全対策クラークが夜間の安全状況も確認する予定である。 ・ 西部支局サンタ・アナ市における武力集団の縄張り情報を提供する。安全対策に活用されたい。 	<p>小林所員：了解</p> <p>専門家：了解</p> <p>専門家：了解</p> <p>専門家：受領</p>	
3	<p>小林所員より、次の関連情報をいただいた。</p> <p>(1) 小林所員の不在について</p> <p>7月11日～27日の期間、小林所員が JICA 事務所不在となる。その期間、プロジェクトに関する業務は、近藤所員、およびオランダ所員が対応する。</p> <p>(2) その他</p> <p>「エ」国東部地区における ANDA の事業方針について、ANDA プロジェクト専門家と情報交換を行いたい。間宮専門家の都合の良い日時に協議の機会を設けたい。</p>	<p>専門家：了解</p> <p>専門家：了解</p>	
<p style="text-align: center;">Actions to be taken</p>		<p style="text-align: center;">by Whom</p>	<p style="text-align: center;">until When</p>
1	<ul style="list-style-type: none"> ・ 調達機材の予定価格設定用の参考見積書の提出 ・ 調達機材の納入先情報の提供 ・ 見積り引き合い代理店の選定理由の明示 ・ 調達機材管理方法の提案 ・ 機材発注方法の提案とその理由の明示 ・ 調達機材の希望納入期日の明示 	<p>専門家</p>	<p>—</p>
2	<ul style="list-style-type: none"> ・ 西部支局の NRW モデル地区候補地の再選定情報 	<p>専門家</p>	<p>—</p>

Form RMD

Project for Capacity Development of ANDA for Operational Improvement

4	<p>Expert Team explained that the procedures of final decision on Model Blocks</p> <p>1st: Issuance of letter from ANDA to JICA informing location of the Model Block</p> <p>2nd: Reply from JICA concerning security arrangements required</p> <p>3rd: Confirmation from ANDA to JICA that ANDA will take necessary arrangements of security required</p> <ul style="list-style-type: none"> Ms. Yanet Diaz understood the procedure and she agreed to issue the 1st letter from ANDA during this week concerning Metropolitan and Central Regions. Concerning Western Region, the Team will inform Technical Director when candidate block were decided. 		
5	<p>Expert Team explained that Mr. Aoki and Mr. Mamiya will go back to Japan (earlier than scheduled) on August 1 and will come back earlier in September (beg-mid)</p>		
6	<p>Expert Team requested to keep the project car “PRADO” at ANDA during absence of Japanese Expert and if possible the Team would like to transfer the car on July 29, 2009.</p> <ul style="list-style-type: none"> Ms. Yanet Diaz agreed to keep the car and she replied Administration Department of ANDA will take care of this matter. The Team can transfer the car on July 29 by giving car key and security switch to Ms. Aura, assistant of Technical Director. 		
7	<p>Expert Team explained that JICA will start procurement of valves and pipe fittings for isolation of Model Block soon. Sizes and quantities are informed to JICA by our expert team. Technical specifications for these materials conform to ANDA’s specifications.</p>		
8	<p>Ms. Yanet Diaz requested for explanation about how-to-use three pick-up trucks procured by JICA.</p> <p>Expert Team explained as follows,</p> <ul style="list-style-type: none"> Three pick-up trucks were already handed over to ANDA How-to-use the pick-up trucks are completely ANDA’s option However, original purpose of these three pick-up trucks were to provide transportation of personel and materials for NRW Reduction Action Teams (three teams for Metropolitan, Central, and Western). Although ANDA can use these trucks as it likes, priority of truck use should be given to three NRW Reduction Action Teams. In early next year, three water flow meters will be provided by JICA and these flow meters will be mounted on the pick-up trucks. 		
	Actions to be taken	by Whom	until When